Copyright 2013 André Stikkers
Copyright overall pictures Eddie Boschma / earlysun.nl
Copyright pictures page 21 and 75 betsydoughertyphotography.com
Copyright pictures page 5, 25 and 81 Lau Siew Ming
Copyright pictures page 23 watches.co.uk
Copyright picture page 23 finertimes.com
Copyright pictures page 29 and 31 Jerry Stamps
Copyright picture page 36 John Theobald
Copyright picture page 60-61 in2watches.com
Copyright picture page 64-65 Joël Pynson
Copyright picture page 79, 83 Bill Shaine
Copyright pictures page 6, 52-53, 103, 123, 127, 129, and 141-151 Glycine Watch SA

All rights reserved
First Edition March 2010
Revised and enhanced edition April 2013
Book design André Stikkers
Typography Hans Lips
Printing house Tielen Boxtel the Netherlands
Bindery Van Waarden b.v. Zaandam the Netherlands
Paper Ideal Premier Coated Gloss White 140 grams
Typeface Rotis Sans Serif
Typeface 24 hour timeline in Model Overview Airman Sans

Despite reasonable efforts the copyright holder of the pilot picture on page 68-69 could not be located.
Due to the fact that it's a unique picture I took the liberty to place it in this book.

For information and permission to reproduce selections from this book contact
astikkers@gmail.com

24hourwatch.info
the Netherlands

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 1

GLYCINE AIRMAN

a 24 hour timeline of flight

special sixty years edition

by André Stikkers

photography by Eddie Boschma

24hourwatch.info
2013

Contents

Acknowledgements 7

Introduction 11

Some History 13

First Generation 17

Second Generation 27

Third Generation 33

Fourth Generation 39

Fifth Generation 43

Sixth Generation 53

Watch your Back 57

Rare Airman 61

Fakes 65

Real Airmen 69

Model Overview 73

Wrap it up 151

Glossary 158

Sources 160

White Airman

バーゼル2013

「エアマン」の第1号モデルが1953年に誕生してから60年が経過しました。
グライシンもまた、以前にも増して、ユニークな「エアマン」のDNAを継承する素晴らしい時計を創作することによって、この時計がたどってきた足跡に光を当てています。
アンドレ・スティッカーズは、フリーランスのライターです。彼が中心になって2010年に書かれたこの本の第1版は、グライシン・ウォッチ・カンパニーの歴史を繙く旅へと私たちを誘いました。この本について、著者本人と話したり、彼に素材や情報を提供できたことは、私たちにとって大きな喜びだっただけでなく、グライシン社や先人たちについて、とりわけシャルル・ハーティッヒや、ハンスとカテリーナ・ブレッヒビュラーについても多くのことを知ることができました。

私たちは、徐々にファンが増えつつある「エアマン」の熱心な愛好家たちの間でこの本が広く読まれることを願ってやみません。このテーマに取り組むスティッカー氏の旺盛な情熱や徹底したリサーチは、まさに注目に値するからです。
「エアマン」のさまざまなモデルを愛好する数多くのコレクターにとって、過去から現在に至る入念な歴史の検証は、コレクションに不可欠な資料として必ずや役立つでしょう。

著者アンドレに心より感謝します。

ステファン＆ニコール・ラック

新品のオールドストック・ムーブメント、フェルサ692

私は以下の方々に感謝の意を表します。

エディ・ボシュマには、素晴らしい写真とフォトショップによる驚くべき画像加工技術に対して。
彼の協力なしにこの本は成り立ちませんせした。

ハンス・リップには、作業工程のガイドやアドバイスに対して。
ペーター・ケーネには、デザインの微調整に対して。www.peterkoene.nl
ペーター・コルスマンには、偉大なエアマン・タイプフェイスに対して。www.attakweb.com
ハーマイン・ヴァン・ルーイーには、アドビ・イラストレーターによる作業に対して。
アンヌマリッジ、ベティ、アド、ハロルド、ギレス、デニス、ジェリーには、文章の編集に対して。
ビル・シェインには、写真および「エアマン」のレア・モデルや重要なディテールに対して。
ベッツィーとシュウ・ミンには、ホワイトの「エアマン 1」の撮影に対して。
クリス・シェルマーには、パイロットのウィリアム・エルマー・マレイの経歴と写真に対して。
ミシェル、ジェリー、ジョフ、デニス、ジョンには、提供いただいた全情報に対して。
トーマス・オスターマンには、この本を書くよう私を励ましてくれたことに対して。
カール・ハーティッヒには、グライシン社初期についての考察に対して。
ヴェルナー・ジークリストには、その豊富な知識に対して。
カンパニー・ツイン・プロダクションAGのウルス・フレイには、ビールのスタジオを使用させていただいたことに対して。
印刷会社のティーレンには、素晴らしい印刷に対して。
ルーカス・カネパには、6代目グライシンの写真に対して。
エヴァ・デップには、最初から今に至るグライシンとの長期に及ぶコンタクトに対して。
ハンスとカテリーナ・ブレッヒビュラーには、この著作の実現に対して。
妻のアーンジェと娘イザには、忍耐強いサポートに対して。

そして
ステファンとニコール・ラックには、第2版の実現に対して。

エアーマン・ベース22

はじめに

1日は24時間です。しかしこの事実は、世界中のほとんどの時計では故意に無視されています。そのため、12時間の代わりに24時間の時計を作ることは、大胆な試みとされています。すでに誕生から60年が経過したモデルを作り続けることも、非凡な業績といえるでしょう。私はこの本で、24時間のタイムゾーンを通して、グライシン「エアマン」の航跡をたどろうと試みました。そんな時間旅行の中で、「エアマン」のデザインや搭載ムーブメント、作り手の方針の変遷を追いながら、最終的には原点に戻って、そこから新時代がスタートを切ったことがわかるはずです。1つの特別なモデルに、これほどまでに沢山の革新が発見でき、多くの人々に受け入れられた例は他にないのです。

この本は「エアマン」賛歌であり、60周年を記念する第2版をステファンとニコール・ラックに捧げたいと思います。

アンドレ・スティッカーズ

本書の中で言及される「エアマン」の全モデルの写真が掲載されているわけではありません。
「エアマン」のほぼすべてのモデルと仕様については、各章の概要に紹介されています。

Some History

スイス、ビール／ビエンヌのフレデリック・インゴルト通り5番地にたたずむ風格のあるヴィラは、現在再びグライシン・ウォッチ・カンパニーの一部として使われている。この場所には、かつての時計全盛期の偉大な面影が今なお残っている。グライシン（フランス語で「藤」の意味）が建物の壁に生い茂り、ファサードにはグリーンで描かれたGLYCINE-ALTUSの文字が掲げられている。ここに並ぶ2つの文字こそが、歴史的な事実にまつわる多くの謎の始まりだ。Montre Altus S.A.とManufacture D'Horlogerie Glycine S.A.という2つの時計会社は、1960年頃に合併したが、時計の名称からAltus（アルテュス）が消え、Glycine（グライシン）のみが残った理由はいまなお定かではない。
この建物で世界の富裕層や著名人向けの時計が作られたのは1920年代だった。グライシンの初期の歴史に属するこの時期に、会社は非常に高価なレディスウォッチに収める小型ムーブメントの製造で名を馳せていた。グライシンを1914年に創業したユージン・メイランは、1931年頃、自身の発明による巻き上げ機能に優れた自動巻きムーブメントを搭載する腕時計を世界に向けて発表した。また、公的機関の検査に合格したクロノメーターも発表するが、大恐慌を乗り切るのは容易ではなかった。それでも危機を生き延びたグライシンは、1938年にバーゼルフェアに出展した数少ない時計メーカーのひとつだった。1953年からグライシンのオーナーになったシャルル・ハーティッヒ（シニア）は、同年にパイロットウォッチ「エアマン」を発表して、会社を世界的に有名にした。
1984年には、ハンス・ブレッヒビュラーがシャルル・ハーティッヒ（ジュニア）から会社を引き継ぎ、ハンスの娘カテリーナも1992年に会社に加わる。この2人のコンビがグライシンを正しい方向へと導いた。グライシンは再び機械式モデルを発表するようになり、1998年はついに機械式ムーブメントの「エアマン」が復活するまでになる。
カテリーナは2011年にグライシン社を新しいオーナーのAltus Uhren Holding AGに譲った。そしてステファン・ラックがGlycine Watch SAのCEOに就任した。

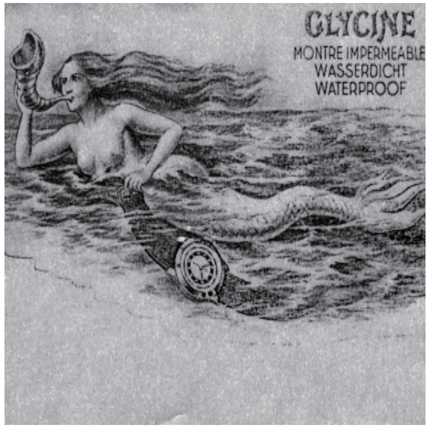
1990年当時のグライシン社の建物

設計と製造

1920年頃の工房

グライシン16ムーブメント

メイラン自動巻きムーブメント



かつてのバーゼルフェアの広告

かつてのバーゼルフェアの広告

GLYCINE - *Airman*

FOR FLYING PEOPLE

GLYCINE - *The Chief*

FOR THE NAVY

1953年7月14日

親愛なるカリへ

君も新聞で読んだだろうが、カルカッタは目下政治暴動に見舞われている。

エアメールの便せんに書かれた5枚の手紙が「エアマン」誕生のきっかけになった。

この手紙は

ではまた近いうちに

君の友

サムより

と結ばれていた。

サムとは、サミュエル W.グリュのことを指し、手紙の宛先は、1953年に会社を引き継いだシャルル・ハーティッヒ(シニア)だった。サミュエルは、その頃すでにアルテュスの重要なスタッフとして活躍していた。2人は長年一緒に働き、切っても切れないチームを組んでいた。当時は、ビジネスで各地を効率よく旅することが不可欠だったが、カルカッタ滞在中に起きた政治的争乱のために、サミュエルにはビール/ビエンヌのシャルルに長い手紙を書く時間的な余裕が生じた。この手紙には、極東における物価動向の報告もなされている。1950年代は、日常生活が豊かになるにつれて、市場機会も拡大した。インターネットもATMもなければ、もちろんクォーツウォッチもないこの時代に、世界は大きいとはいっても、徐々に小さくなり始めていた。サミュエルの手紙の3枚目には、彼がバンコクからカルカッタに向かうフライトで機長のチャット・ブラウンと会ったことが記されている。
以下は、その彼の手紙の中の重要な部分の引用である。

「バンコクからカルカッタに向かうほとんどの時間を副操縦士の席で過ごした。隣にはタイ航空のDC4の機長が座っていた。機長は、あらゆる国のパイロットが実際に必要としている時計とはどのようなものかを詳しく私に説明した。彼の話によると、そうした時計は市場にはないという。

その仕様とは、

防水 - 自動巻き - カレンダー表示付き(CS F694 21石)

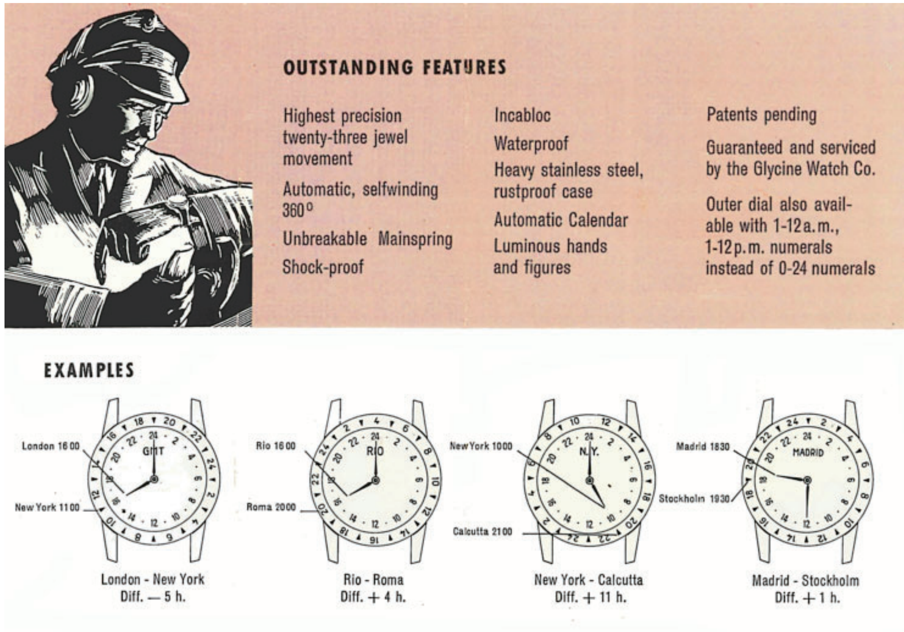
24時間ダイヤル

時針　　　　　　1本、24時間で1周

分針　　　　　　1本、60分で1周

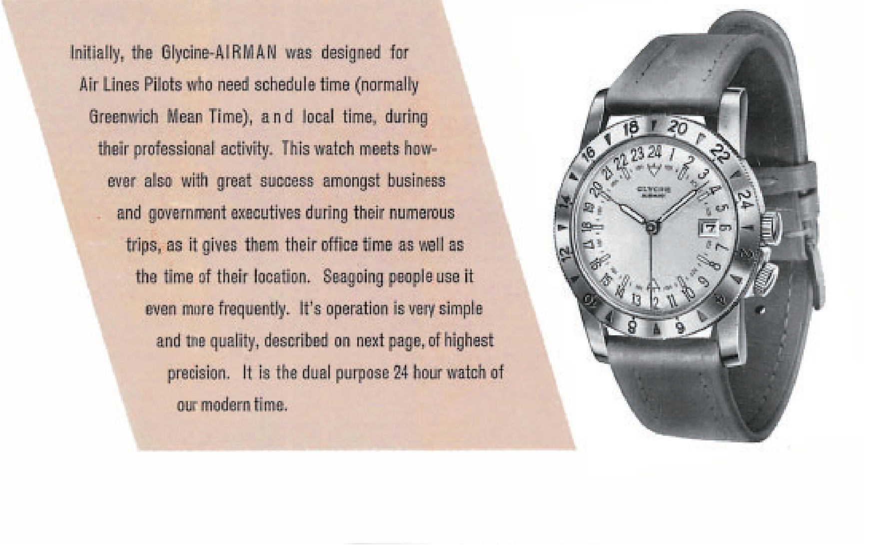
センターセコンド　1本、60秒で1周

ダイヤル外周と回転ベゼルに24時間目盛り



1953年のホワイト・ダイヤル「エアマン」の取扱説明書の修復版より。
右上に見える「ダイヤル外周に、0-24の数字の代わりに、1-12a.m.と1-12p.mの目盛りを配したタイプも選べる」の一文に注目。
16〜17ページ(訳注:下図)は、非常に希少なこの取扱説明書の修復版の表側。

グライシン「エアマン」は元々、職務遂行中に運行予定時間(通常はグリニッジ標準時を使用)とローカルタイムの2つを把握する必要があるエアラインのパイロットのために考案されました。この時計はまた、オフィスの時刻と旅先の現地時刻といった2つを知る場合にも役立ち、頻繁に旅行するビジネスマンや政府高官の間でも人気を呼んでいます。次ページの説明にありますように、操作は非常に簡単で精度も抜群。2つの目的に使える現代的な24時間です。



グリニッジ標準時は、ますます飛行の基準時間になってきており、パイロットには2つのタイムゾーン(GMTとローカルタイム)を確認できる時計が必要だ。機長のチャット・ブラウンは、"ティソのナビゲーターは、こうした職務に適した時計とはまったく言い難い"と語った。私は、このような時計を特別なコストをかけずに作れると思うし、それをパイロットたちが使うスタンダードウォッチとして航空会社に売り込むことも可能だと確信している。ぜひ検討してくれたまえ」

グライシンの歴史に必ず登場する「民間および軍のパイロットたちが一致協力した設計チーム」という一文が、この手紙の中で突然息を吹き返す。

サミュエルが極東への旅から戻ると、グライシンでは初の24時間時計がさっそく開発され、アメリカで発売された。1950年代は、新製品の開発から発表までは4か月もかからなかった。最初は、ホワイト・ダイヤルにペンシル型針を配した「エアマン PM/AM」モデルのみしかなかった。このモデルはアメリカで成功を収め、その結果を踏まえて、世界市場でヒットさせるために必要な修正が加えられた。ブラック・ダイヤルにアロー型針を配した有名なモデルがバーゼルの時計見本市に出展されたのは1955年頃と思われる。ロレックスが、2本の時針を装備した最初のGMTウォッチを発表したのは1954年だから、まさにグライシンはパイロットウォッチの分野でトレンドセッターであった。たった1本の時針で2つのタイムゾーンを表示できる「エアマン」は、製造が簡単なので、消費者に余分なコストを負担させる心配もなかったのだ。

このような背景を知れば、12時間表示の時計が市場を独占する中で24時間表示しか備えないこの小さな時計が数万本も売れたのかその理由がよく理解できるだろう。世界はだんだんと小さくなっていた。民間エアラインと増大する旅客たちは、次のような仕様の現代的な時計を求めていた。

- 24時間表示のブラック・ダイヤルと視認性の高い夜光針やインデックス
- 第2時間帯表示の設定ができる回転ベゼル
- 正確な針合わせのためのハック機能(秒針規正機能)
- 日付表示
- アロー型時針
- 自動巻きムーブメント
- 防水性

25年間も製造が続けられた「エアマン モデル1」には、18種類の異なるモデルが存在することが容易に確認できる。本書のモデル概観では触れていないが、プロトタイプや「エアマン PM/AM」のブラック・ダイヤルも存在する。それらが本物かどうかを断言できるかは確信がないが(63ページ)。

第1世代の最初のモデルの一つ「エアマンPM/AM」

1953年から1960年、キャリバー692搭載、レッドの日付表示：
1.　「エアマン PM/AM」ヌーン・モデル、ベゼルに0-24の均等数字
2.　「エアマン PM/AM」ヌーン・モデル、ベゼルに2-12の均等、1-11の非均等数字。
3.　「エアマン」ブラック・ダイヤル、ペンシル型針、ベゼルに0-24の均等数字
4.　「エアマン」ホワイト・ダイヤル、ペンシル型針、ベゼルに0-24の均等数字
5.　「エアマン」ホワイト・ダイヤル、ペンシル型針、ベゼルに1-12AMと1-12PM
6.　「エアマン」シャンパン・ダイヤル、ペンシル型針
7.　チーフ・チューラー、ペンシル型針
8.　「エアマン」ホワイト・ダイヤル、アロー型針、24時と12時位置に三角マーカー
9.　「エアマン」シャンパン・ダイヤル、アロー型針、24時と12時位置に三角マーカー
10.「エアマン」ブラック・ダイヤル、アロー型針、24時と12時位置に三角マーカー
11.「エアマン スペシャル」、三角マーカーとドット・インデックス
12.「エアマン スペシャル」、ダイヤル上が12、ブラックの日付
13.「エアマン AOPA」
初期モデルの大半は、ベゼルの均等な24時間数字の下に小さなドットの窪みがある。モデル5、6、8、9、10、11、それから第5世代のモデル22、第6世代の26がそれに該当する。

1960年から1967年、A.シールド1700/1701搭載、
ブラック・ダイヤルおよびブラック日付表示：
14.「エアマン」、三角マーカーおよびドット・インデックス無し
15.「エアマン スペシャル」、三角マーカーおよびドット・インデックス無し
16.「エアマン ロータリー」
17.「エアマン」、グライシンのロゴ入り
18.「エアマン スペシャル」、グライシンのロゴ入り

1967年から1978年、A.シールド1903、2063および2163搭載、
ブラック・ダイヤルおよびブラック日付表示：
17.「エアマン」、グライシンのロゴ入り
18.「エアマン スペシャル」、グライシンのロゴ入り

「エアマン PM/AM」を除き、「エアマン」の全モデルに独特の小さなヘアスプリングが組み込まれており、リューズを引き出すと数字の24時から迫り上がる仕組みになっている。これは、針を正確な時刻に合わせるために、秒針を停止させる機能、すなわちハック機能を演じる（25ページ、29ページ）。
A.シールド2163搭載モデルは、ムーブメントに現代的な秒針停止機構が組み込まれている。

pm/am ヌーン

ホワイト・ダイヤル、小針付き

スペシャル

ブラック・ダイアル、ロゴ入り

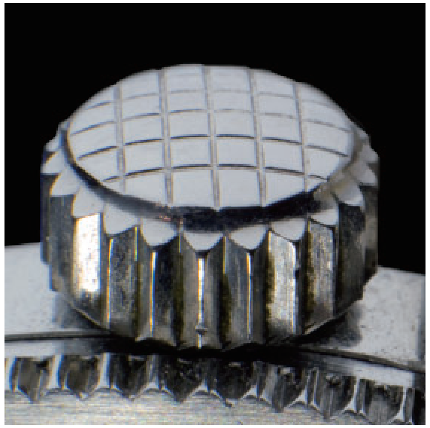
初期の「エアマン」は、2本のペンシル型針を備えていた。こうした初期モデルの分針には反対側に伸びたロングテール（長い尾）があった。私たちの間では、この部分にはっきりとした機能はないものと長いこと考えられてきたが、最近になって、「エアマン」のヴィンテージ・モデルに精通したマサチューセッツのビル・シェインが、尾の機能を明確に記した非常に稀少な初期の取扱説明書を発見したのである。そこには「他の特徴としては、分針に加えられた長い尾です。これは、G.M.T.とローカルタイムの時差が1時間単位で区切られていない地域のローカルタイムを読みとるのに役立ちます。こうした時差が適用されているのは、ゴンダー、ボンベイ、ビルマ、キュラソー、イラン、ウルグアイ、ヴェネズエラなどです」とある。
これらの地域では、しだいに1時間区切りの時差を採用するように変わったが、イラン、インド、アフガニスタン、ネパール、ミャンマー、オーストラリア中部、世界各地の島々ではそうなってはいない。
1955年頃になると、時針はペンシル型からアロー型に変わり、ロングテールも分針から時針へと移行した。現在では、この時針の尾部が24時間目盛りの反対側を指しており、24時間目盛りに慣れた人々にとっては、記憶を助ける機能を果たしている。
トップに斜線の格子模様を刻んだ有名なリューズは、長い間「エアマン」の特徴の一つになってきた。おそらくグライシンがこのリューズを使い出したのは、A.シールド1701を搭載するようになった頃からだろう。裏蓋は、1965年頃に、ねじ込み式のスクリューバックよりも防水性に優れる押し込み式のプッシュバックに変更された（※訳注：一般的にはスクリューバックの方が防水性に優れるが、ここでは原文通りに翻訳）。改良が加わった「エアマン」は、パイロットや軍人たちから一段と注目されるようになり、とりわけアメリカ空軍のスタッフの間で絶大な人気を博した。ベトナム戦争の最盛期には、アメリカ空軍パイロットのみならず、地上部隊の軍人たちも、官給品の時計の代わりに「エアマン」を着けるようになった。1965年頃の「エアマン」の価格は100ドルで、伸縮自在なフィクソフレックス・ブレスレットを付けて販売されていた。
1964年にシャルル・ハーティッヒ・ジュニアは、ムーブメントの交換やグライシンの時計の修理のためのグライシン・セールス・アンド・アフタサービス・センターをアメリカ合衆国に開設した。同じ年、ハーティッヒ・シニアのほうは、ゼイルズ・カンパニーと業務提携を結び、全米各地のゼイル販売店以外の店にもグライシンの時計を流通させた。
シャルル・ハーティッヒ・ジュニアは、1965年に父親が亡くなると、スイスに帰国した。1967年からグライシン社で働き始めたヴェルナー・ジークリストが、成長を続けるアメリカ市場でより良いサービスを展開するために同年にアメリカ合衆国に赴任する。彼は1968年にグライシン社のセールス・アンド・アフタサービス・センターのマネージャーに就任し、アメリカ合衆国におけるグライシン「エアマン」の成功に重要な役割を演じることとなった。

スクリューバックの裏蓋

プッシュバックの裏蓋

フェルサ692

A.シールド


斜線の格子模様を刻んだリューズ

ハック機構

Second Generation

「エアマン」の成功に手応えを得たグライシンは、ベストセラーを続ける「エアマン」に2番目のモデルを投入する。1965年にシャルル・ハーティッヒ・シニアが急逝したので、サミュエル・グリュは、グライシンの経営陣に友人たちを招いて事業を継続せざるを得なかった。「エアマン」の第2世代の開発は、おそらく彼の指揮の下で行われたはずである。

「エアマン SST」

それは、ジョン F.ケネディ大統領が「人類の月面着陸と地球への無事帰還」をサポートすると宣言してからまだ6年しか経過していない1967年のことだった。時計のケースが丸形から脱し、さまざまな機能が整備されたことを思い返せば、新しいテクノロジーとデザインの時代の幕開けを告げるものだった。

SSTとは、Supersonic Transport（超音速輸送機）の略で、この新しい「エアマン」の裏蓋にエングレーブされる魅力的な機体は、ボーイング2707だと信じ込まれてきた。しかし、SSTの野心的な開発プロジェクトは、試作機の完成に至らず、1971年には中止になってしまった。また、「エアマン SST」の取扱説明書（26-27ページ ※訳注：当時の）に描かれているのはコンコルドの機体であるが、超音速旅客機のあらゆる写真を参照しても、この時計の裏蓋に描かれている独特の機体がどの機体からインスピレーションを得たのかを特定するのは難しい。ソ連のツポレフTu-144というのもありうる話だ。コンコルドとツポレフは、いずれも1968年に初飛行に成功し、1967年当時は話題の的になっていたからだ。唯一確かなのは、アメリカ空軍のパイロットたちが、この時計に関わっていたことである。歴史が語るように、彼らは初代「エアマン」の開発中にグライシンから相談を受けていた。「エアマン」がアメリカ空軍のスタッフの間で圧倒的な成功を収めたことが、グライシンにフィードバックされ、新しいモデルの開発に生かされたのは間違いないだろう。

それを示唆する特徴には次のようなものがある：

- ダイヤル右側はグレーで24-12AM、左側はブラックで12-24PMに分割されている。このような分け方は主にアングロサクソン系の国で使われている点
- パンプキンというニックネーム
- 裏蓋に刻まれた、仮想のボーイング2707

「エアマン SST」は成功を収めたものの、先行する「エアマン」を凌ぐことはけっしてなかった。
次のような要因も考慮すべきだ：

- 通常の「エアマン」の製造は続いており、絶大な人気を博していた。「エアマン SST」は、この古典的なモデルと競合し、苦戦を強いられた。
- 1970年には初のデジタル時計が登場。プラスティック・ケースを用いたLED時計が1975頃までに大量生産され、時計の価格が10ドル以下にまで下落した。

この頃になると、伝統的な時計産業の強固な地盤が崩れ、機械式時計は少量しか売れなくなっていた。

エアマン SSTの裏蓋

エアマン SST

エアマン SSTの裏蓋

ハック機構

グライシン スポーツ

グライシン GMT クロノグラフ

このような激変の爪痕は、今なおヴィンテージ・ウォッチ市場で流通するエアマンSSTに見られる。販売不振によって、「エアマンSST」用に製造されたケースは、「グライシンスポーツ」のような12時間表示の一般的なモデルに転用された。
「エアマンSST」は1967年から1978年まで生産が続けられ、以下のムーブメントが搭載されていた：
1967年 - 1971年　A.シールド 1903、25石
1971年 - 1974年　A.シールド 2063、25石
1974年 - 1978年　A.シールド 2163、25石

1968年「エアマン SST クロノグラフ」登場
1968年にグライシンは「エアマン」初のクロノグラフを発表する。有名な「エアマンSSTクロノグラフ」である。現在中古市場でこの時計を見かけたら、必ずといってよいほどこの時計が類い稀な希少モデルと説明されていることが目に入るだろう。神格化されたこのヴィンテージ・ウォッチの価格は年々上昇の一途をたどっている。この手巻きクロノグラフは、わずか100個ほどが製造され、ほとんどが市場で売れずに終わったと思われる。「エアマンSSTクロノグラフ」は、このモデル専用の取扱説明書とともに伝統的なウッド製の「エアマンボックス」に収められている。このクロノグラフのオリジナルの取扱説明書が姿を現すこともあるが、ほとんどはブルーの「SST」取扱説明書に類似している。ムーブメントは、バルジュー72である。モデルの型番はすべて399.2119だが、シリアルナンバーが付されたものもいくつか存在する。グライシン社の保存資料の一部が洪水によって散逸した事実を思えば、正確な情報を手に入れるのは不可能だ。それもまた、この時計のカリスマ性を高める一因になっている。
希少で神秘的、「エアマン」の基本を押さえたクリーンなデザインをもったこの時計は、「エアマン」のヴィンテージ・ウォッチの愛好間の間で垂涎の的になった。最近になってグライシンは「エアマンSSTクロノグラフ」をコレクションに再び加えた。
偉容を誇るこの時計がなぜ、かくも不成功に終わったのか。もちろんデジタルウォッチの台頭が著しかったとはいえ、それがこの時計の売れ行きがまったく芳しくなかった理由にはならない。むしろ重要なのは1969年という年である。この年、ホイヤー、ゼニス、ブライトリングがいっせいに日付表示付きの自動巻きクロノグラフを発表した。彼らは長らく待望されてきた新技術を提供したのだった。「エアマンSSTクロノグラフ」の場合はどうかといえば、GMTクロノグラフを1つの主流にすべく考案された古典的クロノグラフだった。グライシンは2011年にこのモデルのレプリカを発表した（145ページ）。

91ページにある「エアマン SST クロノグラフ」の秒針はオリジナルではない。

エアマン SST クロノグラフ

Third Generation
GLYCINE
AIRMAN
QUARTZ

ある意味で、「デジタル」を商業ビジネスにした先駆者の1つは時計産業であった。かつては揺るぎない存在に思えた時計産業が、クォーツやLCDといった先端テクノロジーによって、その基盤が一掃されたことを現代の私たちは知っている。時計産業全体が一夜にして永久に滅んだかに見えたのだ。グライシンもこの運命から逃れることはできなかった。

サミュエル・グリュが1974年に亡くなり、シャルル・ハーティッヒ・ジュニアが跡を継いだ。

この時期は、大手時計メーカーの多くが苦境に追い込まれ、この世界を覆う未曾有の変化に対応できずに倒産する会社も現れた。

「エアマンクォーツ」は1978年に発表され、機械式の第1世代と第2世代の「エアマン」に終止符が打たれた。25年以上に及ぶ年月に何万個もの良質な機械式「エアマン」が販売されてきた。もしも、父親の引き出しの中に古い時代の「エアマン」を見つけたら、そのうちの10個に9個は、時計を振るだけで動き出し、正確に時を刻むことだろう。こうした素晴らしい時計に否定的な見解を抱くことはほとんど不可能であり、その高品質は21世紀にも通用する。グライシンというブランド、とりわけ「エアマン」は盤石な地位を確立しており、それによってグライシン社は困難な時代を乗り切ることができた。

当時の状況を考えてみれば、「エアマン」初のクォーツ・モデルを無視するのは簡単だろう。しかしそれは、現在まで途切れなく続く「エアマン」の系譜に属する偉大なモデルなのである。それはともかく、この初のクォーツ・モデルには素晴らしいデザインが備わっている。より細身のタイプフェイスが使われており、それは後に第5世代「エアマンスペシャル」のいくつかのモデルに再び採用されることになる（37ページ）。初代クォーツ・モデルは数千個が製造され、販売された。これらが売り切れになると、グライシンは生産の継続を望まなかった。しかしアメリカ市場での「エアマン」の需要が絶えないので、アメリカ合衆国におけるグライシン・セールス・アンド・アフターサービスからヴェルナー・ジークリストにライセンス生産を許可するという合意が成された。これにより、ヴェルナーは「グライシンエアマンGMT2000」という時計を1000個製造した。続いて「グライシンGMT2000」（36ページ）も800個製造した。

ヴェルナーは、1968年から1972年までグライシン・セールス・アンド・アフターサービスのマネージャーを務めていたが、1973年にセンターを買い取って、北米と南米における「エアマン」の独占的なディストリビューターになった。同社は、1991年にはファルコン・ウォッチ・カンパニーに改名している。

「エアマン」の歴史において重要な役割を演じたヴェルナーは、40年以上に渡り「グライシン・エアマン」一筋に歩んで来た後、2012年に時計ビジネスから引退した。それゆえ、彼には「ミスター・エアマン」というニックネームがついた。ヴェルナーが引退したとき、彼はヘリコプターのパイロットを雇っていたが、後に彼は時計職人として歩み始め、ヴェルナーは、自身の時計製造機器を彼に無償で寄付したのだった。ヴェルナーは、自らの仕事に気を配り情熱を注いだ本物のジェントルマンなのである。

エアマン クォーツ

エアマン　GMT 2000 1989

ムーブメント

キャリバー	ETA 955.422 クォーツ
機能	24時間表示、分、秒、日付
径	10½ ライン
石数	7石
Hz	32,768
耐磁	

ケース

素材	ステンレススティールまたはバイカラー
直径	36mm（リューズ含まず）
厚さ	7mm
仕上げ	サテン
防水性	10気圧
裏蓋	プレスオン
ガラス	フラット、ミネラルガラス
ダイヤル	ブラック
針	ホワイト夜光
リューズ	引き出し式

ブレスレット

素材	ステンレススティールまたはバイカラー
仕上げ	サテン
幅	19mm（ラグ側）

ステンレススティール500本限定、バイカラー500本限定
「GMT 2000」800本限定（写真モデル）

GMT 2000

エアマン・タイプフェイス

1955年頃からグライシンは有名なエアマン・タイプフェイス（左列）を使い始めた。1978年には第3世代「エアマン」のために新しい書体がデザインされた。このバリエーションは、第5世代の「エアマン スペシャル」や「エアマン スペシャルII」にも使われている（右列）。

12	21
34	43
56	65
78	87
90	09

Fourth Generation
GLYCINE
SWISS
U-95
KARACHI
MOSKWA
RIJADH
NEW DELHI
BANGKOK
HONG KONG
TOKYO
SYDNEY
PARIS
ROMA
GMT
AZORES
GLYCINE
AIRMAN

シャルル・ハーティッヒ・ジュニアがグライシン社のトップを務めていた10年間に、彼はたくさんの問題を克服しなくてはならなかった。彼はまたこの時期にハンス・ブレッヒビュラーに出合い、ビジネスの関係もできた。シャルルがハンスに会社経営の引き継ぎを申し入れたのは、1984年頃だった。経営の移譲によって彼は「エアマン」伝説、すなわち誇るべき伝説の継承をハンス・ブレッヒビュラーという優秀な人物に託したのである。シャルルの父とサム・グリュは二人三脚になって、第1世代から第3世代の「エアマン」を市場に送り込んだ。これらの時計が絶大な人気を博したからこそ、第4世代、第5世代、第6世代が作られるようになったのである。

ハンス自身の時計会社のベリンダは、プライベート・レーベルの時計製造を専門としていた。ベリンダ社はまず、グライシンの操業維持に努めた。しだいにグライシンは高品質のクォーツウォッチ、たとえば力強い「チャルク」やゴールドプレート仕上げの「ゴールドシールド」と呼ばれるモデルなどを製作して息を吹き返してきた。そうすることによって極東の安価なクォーツウォッチに対抗することができた。1989年頃、ハンスは、日本市場からの要請を受けて第4世代「エアマン」の開発に取りかかった。この「エアマン」には、まったく新しいデザインが採り入れられている。タイムゾーンの設定に用いるもう1つのリューズが加わったのが特徴だとわかるが、しかし、時計自体のコンセプトは完全に新しいものだった。

以下の文章は、グライシン「エアマン24時間ワールドタイムウォッチ」の発表当時のオリジナルパンフレット38-39ページからの抜粋である。

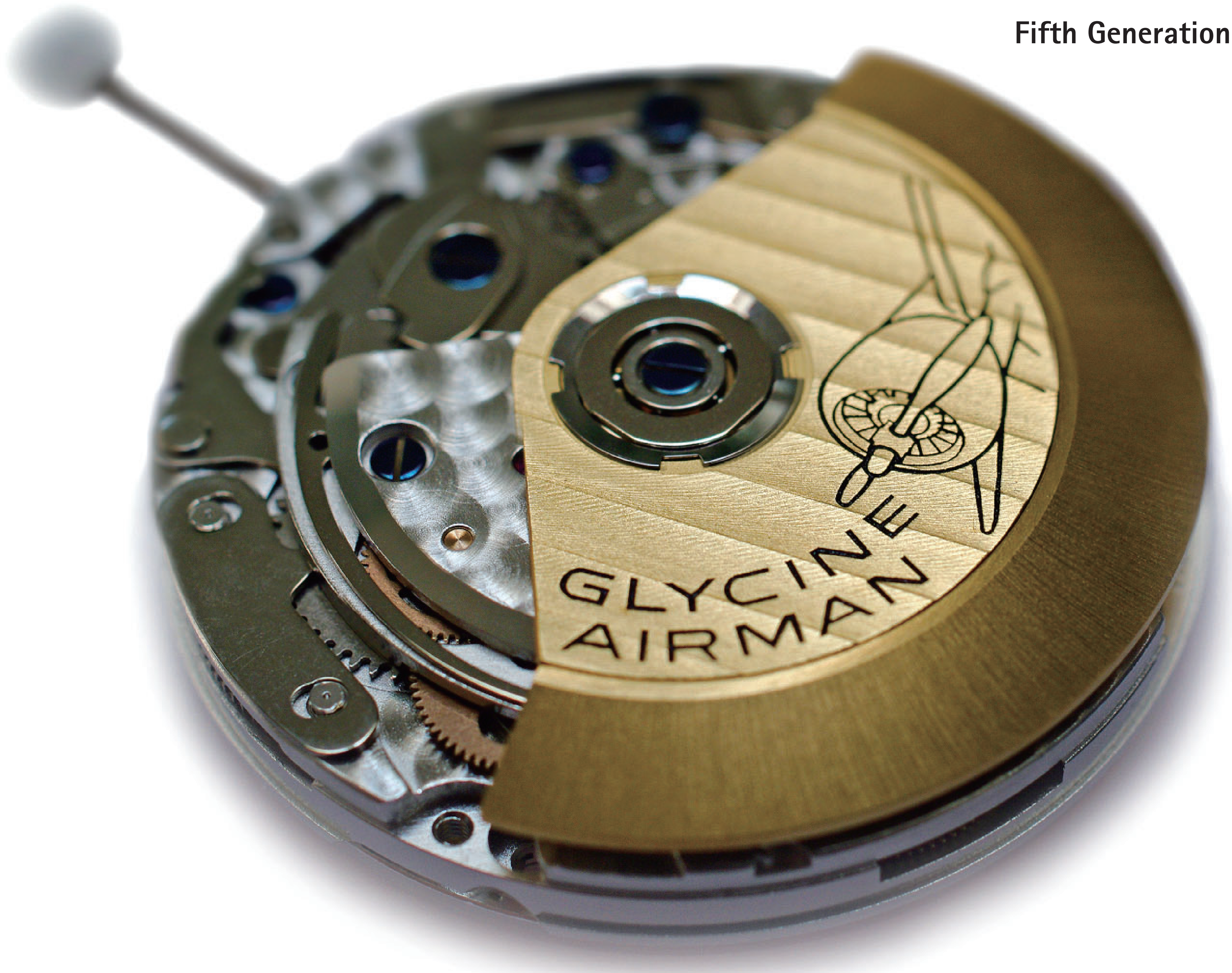
「グライシンはすでに1953年に、伝説的な時計『エアマン』の最初のモデルの製造を開始しました。この時計のデザインや特徴は、民間および軍のパイロットたちとの密接な協力関係のもとで進められました。当初は自動巻きムーブメントが搭載されていましたが、1970年代以降は、クォーツ・ムーブメントが使われています。この時計は、発表から長年に渡ってベストセラーを続け、世界中の人々に数多くの『エアマン』が使用されてきました。パイロットにとどまらず、世界をジェット機で移動するたくさんの旅行者たちが愛好する時計になっています。

フラットでエレガントなケースは、スイス最高品質のステンレススティールで作られ、周囲に切り込みが入った回転ベゼルには、世界22都市の名が刻まれています。特別に設計されたスイスETA社のムーブメントは、早送り修正機能付きの日付表示に加えて秒針停止機能を備え、時報に合わせて正確に時刻修正ができます。時針は、一般的な時計とは異なり、ダイヤルを24時間で一周します。濃淡のグレーによって色分けされたツートーン・ダイヤルを組み合わせ、昼夜のサイクルが見やすくなっています。

この『エアマン』は特別な構造になっており、ベゼルとインナーベゼルを回転させるだけで、ローカルタイムとワールドタイムの調整や読み取りが素早く行えます。時差計算などはいっさい不要です。そのため、グライシンの『エアマン』は、まさに24時間ワールドタイムと呼ぶにふさわしいモデルです」

エアマン ワールドタイム ウォッチ

Fifth Generation



1998年、20年間も作られてこなかった機械式の「エアマン」が、GMTウォッチとして時計市場にカムバックした。それは、ハンス・ブレッヒビュラーと、1990年代はじめにグライシン社に入ったハンスの娘のカテリーナが立てた新しい戦略だった。カテリーナは、グライシンの機械式時計の復活に着手し、1995年にドイツで発表された「グライシン・メカニック」によってまず成功を収めた。今にして思えば、この時計が成功した時期こそが、時計産業が機械式復活へと向かうターニングポイントだったことがわかる。

カテリーナは、ちょうど良い時期に素晴らしいアイデアを携えて父親の事業に参加した。最初の、おそらく最も重要な功績はブランドの建て直しだった。グライシンとは、多くの危機を乗り越えてきたブランド・ネームであり、コンセプトであった。彼女の父親はプライベート・レーベルの時計づくりと古いスタイルの時計ビジネスをうまく組み合わせてグライシンを新しい時代へと安全に導いた。1995年に復活した機械式時計のラインは、眠れる巨人を目覚めさせた。グライシンというブランドに全力を注ぐ時期が到来したのである。ベリンダ社とグライシン社は2002年に書類上で合併した。新しい戦略は、1998年発表の「エアマン 2000」や1999年発表の「KMU 48」によく表れている。2002年には従来とは完全に異なる驚くべき新しいコンセプトを発表し、グライシンの歴史に大きな革命をもたらした。
直径48mmの「KMU」や52mmの「F104」などを通じて「エアマン」の大型化は見慣れていたものの、まさか直径53mmが登場するとは誰も予想できなかった。1mm大型化したその「エアマン 7」がバーゼルで発表されると、周囲に大きな衝撃が走った。この時計はまた、独立した3個の自動巻きムーブメントを腕時計に搭載した初のモデルだった。こうしてグライシンは、ほとんど消滅しかかっていた時期からわずか15年でトレンドをリードする時計会社になっていたのである。
夢を叶えるために揺るがぬ信念を抱いていたカテリーナが発表した「エアマン」は、この時計の歴史に一致するものではなかった。カトリーナが未来に向けて計画していた時計は、彼女が手掛けた最初の新しい「エアマン」のモデル名にヒントがあった。すなわち「エアマン 2000」やその大型モデル「エアマン 46」である。これらは21世紀への布石だったのである。

新しい「エアマン2000」は大好評を博し、古い「エアマン1」と同等の地位を獲得するまでになったが、しかしオリジナルの「エアマン」のような24時間表示時計とは別物である。この時期のグライシンは、純粋な24時間時計を求める市場を視野に入れていなかった。しかし、純粋な24時間バージョンの「エアマン」の需要は、予想以上に大きかったので、愛好家たちが入手可能な24時間モデルを特別にオーダーした。とはいえ、24時間時計の市場は非常に限られ、そうした純粋なモデルは、第5世代の「エアマン」のおそらく10パーセントにも満たなかっただろう。
次に発表される「エアマン」では、より古い時代の特徴が取り入れられた。

エアマン 2000

この「エアマン 46」は、ベゼルをロックする有名な第2リューズが備わっており、はじめは24時間バージョンのGMTウォッチとして作られた。すでに述べたように、直径46mmの巨大なケースは壮観で、次に人々を圧倒したのは「エアマン 7」だ。
古いスタイルへのこだわりは残されているものの、どこかが違っていた。オリジナルの「エアマン」のケースは36mmだった。「エアマン 7」より約20mmも小さいのである。
36mmサイズの時計は、もはや古くさいものになっていた。

グライシン自身の言葉もそうした考えを申し分なく語っている：
「エアマン」は、1953年に誕生し、世界で成功を収めました。伝説となった「エアマン」の36mmケースへの需要の高まりに応えるため、2002年に再び採用しました。

次のような言葉にも、カテリーナとハンスが成功を収めた戦略を読み取ることができる：
人々の声に耳を傾けること。消費者はさまざまな過程の中で最も重要な役を演じる。消費者がいなければ、存在理由もない。この戦略を信じて自社の製品に投資する。

こうした過程は、会社の成長にもつながり、時計の開発にも反映される。「エアマン 9」からは、ムーブメントのローターに飛行機をモチーフにした美しいエングレーヴィングを施す（本書42-43ページ）。こうした美観の向上は、以降のモデルにも引き続き行われる。
シースルーバックのモデルは2005年に製造され、それ以降すべての自動巻きローターにエングレーヴィングが施されている。
2004年に発表された「エアマン」初の限定モデルは、スーパールミノヴァによる夜光ダイヤルに、威厳に満ちた名称“Mauna Loa Volcano”（ハワイの火山）のイニシャルMLVが記されている。
同じ2004年頃、さっそうと登場したこの「エアマン」はよく似た偽物の「エアマン」という副産物も生んだ。多くのコレクターをとりこにした本物とともに、偽物も現れたのである。
「エアマン スペシャル」は、サイズが大型とはいえ、オリジナルに本物の敬意を表したモデルである。この「エアマン 11」は発表当初からコレクターズ・アイテムになっていたが、その系譜を引き継いだのが「エアマン ヴィンテージ V」だ。この「エアマン 12」は、さまざまな点で60年代の古い「エアマン」の完全レプリカと呼べる。両者とも、純粋な24時間バージョンのみで発表された限定モデルである。
2005年には、2つの非常に特別な限定モデル、「エアマン 7」をベースにした“a legend goes gold（ア・レジェンド・ゴーズ・ゴールド）”と “Diamonds are forever（ダイヤモンズ・アー・フォーエバー）”を発表し、グライシンは黄金期に突入した。
グライシンはまた、コストが嵩むオールド・スタイルのエアマン針を再び導入した。「エアマン ヴィンテージ V」は、第5世代では初となる、12の数字がダイヤルの上に配置されたレアなデザインで、発売から間もなく売り切れた。この時計は、古い時代の特徴を採り入れたニュー・デザインの先がけになった。

エアマン 7

エアマン 8

エアマン スペシャル

エアマン ヴィンテージ V

同比率表示

こうした新しいスタイルは、「エアマン 13」と「エアマン 14」に完璧に表現されている。「エアマン SST 06」はオリジナルより3mm大きいが、「エアマン SST」の完全なレプリカだ。ローターに施された素晴らしい仕上げのエングレーヴィングは、まさにかつての時代への敬意の表れである（本書160ページ）。その兄弟とも呼べる「エアマン D24」は、新しいテクノロジーが生かされた注目すべきモデルである。2本の24時間針が備わるETA 2x24 2893-2ムーブメントをグライシンが初めて採用したからである。この2本の24時間針によって4つのタイムゾーンの時刻が可能になった。当時としては画期的だった。

2006年までに、1998年から数えて全部で12の新しい「エアマン」のモデルが製造されてきた。「エアマン 7」のデザインを左右逆転させた「エアマン 7 クロスワイズ」に続き、グライシンは新たに「エアマン 7 プラザマヨール」を発表した。名称は、マドリッドの中心街にある左右対称の大きな長方形の広場に由来する。このモデルもまた、人気が沸騰中の大型時計市場に新しいトレンドを創出した。

いわゆる“ふつうのデザイン”の「エアマン」にも光が当てられた。2006年に「エアマン 8」「エアマン 46」「エアマン 2000」が作られたが、それらは後継機となる「エアマン 17」や「エアマン 18」を準備するものであった。

「エアマン 17」は、ETA A07.171自動巻きムーブメントを初めて搭載する「エアマン」だった。大型時計の市場拡大に合わせて、ETAは、大型ケースにフィットするムーブメントを開発したのである。「エアマン 17」や「エアマン 18」には、新しく開発されたロック機構のラチェット・スペーサー・システムが備えられた。これまでの反響や研究を生かして、両モデルとも、現在の我々が時計に求める高い品質基準に挑んだ。

限定特別モデルの「エアマン スペシャル」や「エアマン ヴィンテージ V」は、売り切れ必至であった。これに次ぐ「エアマン スペシャル II」も、全コレクションの中で、即完売が予想されるものだった。新しいオールド・スタイルの針を備え、ケース径が42mmというこの「エアマン」は、多くのコレクターが手に入れるべきマスト・アイテムになった。しかし、2008年にはさらに魅力的なモデルが控えていた。この年に発売された、「エアマン 7」と「エアマン 7 プラザマヨール」のチタンDLCバージョンと、クロノグラフの第2弾「エアマン クロノ 08」である。

1998年から製造されたニュー・モデルを1つ1つ数え上げると、その数は全部で21に達する。

2009年は記念すべき年だった。世界が経済不況に見舞われる中で、かつて見たことのないほど美しい、第5世代の「エアマン」が作れたからである。

それは、「エアマン 7 チタニウムDLC ゴールデン リム」というモデルだ。DLCコーティングを施したチタンとゴールドという素材を組み合わせたこの10本限定モデルは、まさに傑作の名に値するものだった。シースルーバックから見えるのは、ゴールド仕上げのローターを戴く3個のムーブメントだった（本書56-57ページ）。

エアマン D 24

エアマン SST 06

エアマン スペシャル II

エアマン クロノ 08

同比率表示

この特別な「エアマン 7」は、10年間に及ぶ第5世代「エアマン」の最高峰に位置づけられるモデルだが、「エアマン ダブル 24 09」は、これまでで私が目にした中で最もパワフルな「エアマン」である。このモデルは、ETA 2x24 2893-2ムーブメントを搭載する2番目の「エアマン」だ。
2010年のバーゼルワールドでは、「エアマン ベース 22」(本書10ページ)が発表された。1953年の「エアマン 1」と同じベーシックなモデルだが、「エアマン ベース 22」は過去の基本的な特徴を最も良く現代に伝えている。「エアマン ダブル 24 09」と同様に、分針には、この「エアマン」の全般的な見栄えを改善するために、若干太い針が採用されている。
古い時代の「エアマン」を彷彿させる、斜線の溝を刻んだリューズもこのモデルに採用されている。「ベース」という言葉は「エアベース(空軍基地)」や軍用飛行場を表す。「エアマン ベース 22 GA」は、時針をジャンプさせて移動できるセッティング機能を備えた特別モデルで、グレッグ・アシュワンデンという名の若いパイロットの協力を得て開発された。
2010年に特許を取得した「エアマン F 104 レギュレーター」は、グライシンの2つの有名なパイロットウォッチの特徴を併せ持つモデルだ。

ハンス・ブレッヒビュラーは2010年に82歳で亡くなった。スイス時計産業の存在を信じ、それによって世界的な地位の回復に決定的な役割を果たしたこの人物を称えたい。
彼の尽力がなければ、「エアマン」というアイコニックな時計は、歴史に埋もれたままになっていたかもしれない。
ブランドの再構築と機械式時計の復活に揺るぎない信念を抱いていたカテリーナは、それを機に第5世代の「エアマン」を世に送り出した。彼女はここまでの過去13年間におよそ20モデルもの「エアマン」を製造した。その数はちょうどバリエーションの数と一致する。
こうして「エアマン」はアイコニックな時計の地位を再び手に入れ、グライシンというブランドも本来の場所に復帰したのである。
2008年に市場が経済危機に見舞われると、グライシンもそのあおりを受けて、2009年には売り上げがかなり減少した。だが、カテリーナはキャプテンとして本領を発揮し、この危機をうまく切り抜けた。私たちは動揺さえ感じ取ることはなかった。目にしたのは、偉大なニュー・モデルの数々であり、2011年には「エアマン 24」の発表に歓声を上げたのである。
謎に包まれたあの伝説的な「エアマン SST クロノグラフ」が、第5世代を締めくくる最後の時計になるとは誰も気付かなかった。
グライシンのトップとして19年間活躍してきたカテリーナは、時計会社として長らく続いてきたグライシン・ウォッチ SAを100%スイス資本のアルテュス・ウーレン・ホールディング AGが引き継ぐ旨を表明した。
「エアマン」を支えた偉大なレディに別れを告げるのは、複雑な気分に見舞われる。しかし、カテリーナが築いた「エアマン伝説」が有能で愛情にあふれるステファンとニコール・ラックの手に委ねられたことを知って安堵する。会社の今後は、グライシンの伝統を暖かく見守るファミリーによって経営が続けられる。

エアマン ダブル 24 09

Sixth Generation

2011年にグライシン・ウォッチ SAの新しいCEOに就任したのは、アルテュス・ウーレン・ホールディング AGの代表取締役で、同社の株の大半を所有するステファン・ラックである。両社の名称は、シャルル・ハーティッヒ・シニアがかつて所有していた古い時計会社モントル・アルテュス　S.A.に由来し、グライシンの時計に「アルテュス」というモデルを導入したのもまた、ハーティッヒだった。この名称を選んだことに、グライシン-アルテュスの華々しくも偉大な歴史への敬意と賞賛が表れている。ステファンは、2012年に「エアマン」の特別な5つのモデルを発表して、グライシンの遺産にさっそく精彩をもたらした。ステファンは、「エアマン 17」と「エアマン 18」のオリジナル・ベゼルにゴールドを採用するという、意表を突く試みで人々を驚かせた。「エアマン ベース 22 ミステリー」では、さまざまなトーンのグレーを採り入れ、さらにカテリーナのデザイン帖にすでに描かれていた「エアマン SST 12」を完成させて発表に漕ぎ着けた。

しかしここではまだ最高のモデルは姿を現していない。サミュエル・グリュがタイ航空のDC4に乗り、機長のチャット・ブラウンの隣で交わした会話に基づいて書き記したスペックを備えるあのアイコン・ウォッチから60年。この歴史的瞬間を記念する「エアマン ヴィンテージ 1953」の製作を発表したのである。

その意図は、グライシンによる次の言葉に申し分なく語られている：

時は貴重なものです。グライシンは、時をこの上なく素晴らしい時計に封じ込めることに成功したのです。

この言葉を裏付けるものは他にもある。「エアマン ヴィンテージ 1953」は、オリジナルとそっくりな、カバノキから作られたウッド製のサービスパック・ボックスに収められているのである。時計のデザインは、1953年の伝説の時計を範にしているが、そこに駆使されているのは現代のテクノロジーだ。このプロジェクトは、かつてないほどオリジナルの「エアマン」に私たちを導いてくれる。今後に向けて有望な未来を予感させる試みだ。

ステファン・ラックは、これまでの10年間でスイスのさまざまな著名時計ブランドの販路を中国全土や東南アジア、日本に拡大することに成功した。同時に、製品開発やブランド・マネージメントにも豊富な経験を積んでおり、グライシンもその恩恵に浴すことだろう。

そのおかげで、近い将来に興味深いニュー・モデルに出会う可能性は高い。アジアにおける彼の経験がグライシンにも役立てられるはずだ。新しい市場が開拓され、そうした市場向けに新しいデザイン・アプローチも必要になるだろう。

私は、アムステルダムのホテルのラウンジでステファンとニコールにお目にかかる機会に恵まれた。彼らは、まるで何年も前からの知り合いのように私を暖かく迎え入れてくれ、3時間も話をした。2009年から2010年にかけて本書の第1版を執筆中に、ハンスとカテリーナ・ブレッヒビュラーに対して抱いた想いと同じように、彼らにもまたグライシン・ファミリーの一員だという親近感を覚えたのだった。

第6世代の「エアマン」がいま、経験豊富なパイロットや乗務員とともに大空へ飛び立とうとしている。

エアマン SST 12 ミラノ

エアマン 18 ロイヤル

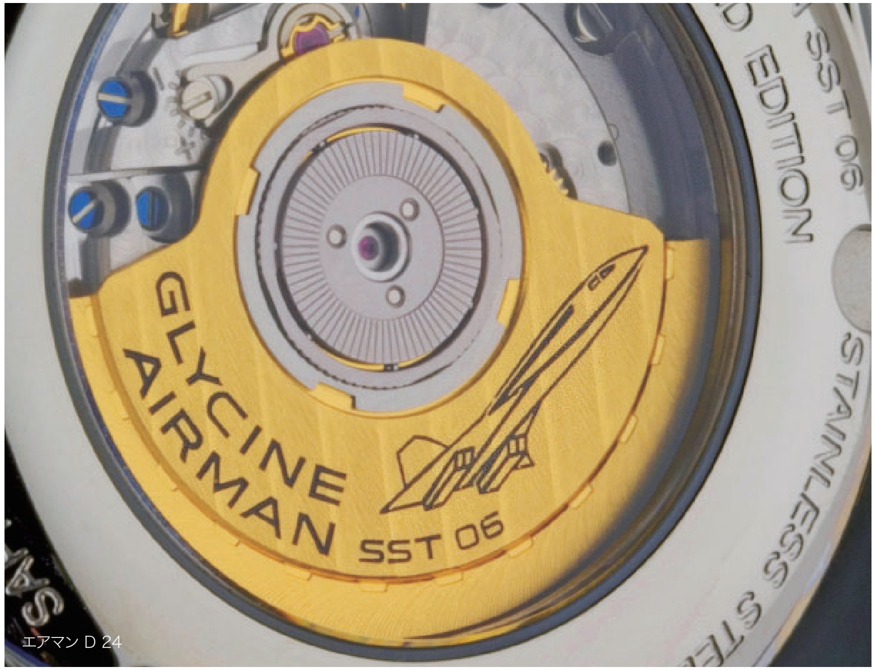
エアマン ベース ミステリー

エアマン ヴィンテージ 1953

同比率表示

Watch your Back

グライシン「エアマン」の長い歴史を振り返ると、第5世代を製作中にカテリーナにインスピレーションをもたらしたと思われるも1つの時計がある。
それは、1967年に発表された、裏蓋に航空機のエングレーヴィングが施された「エアマン SST」だ。このエングレーヴィングは、2006年の「エアマン D 24」に復活する。シールスーバックになっているこのモデルは、イエローゴールドのコーティングが施された自動巻きローターに有名なSSTが描かれているのである。また「エアマン SST 06」のスティール裏蓋にも、その名の通り、SSTのシルエットが刻まれている。ボーイング超音速旅客機は、当時を称えるシンボルである（本書160ページ）。
自動巻きローターにエングレーヴィングを施す伝統は2004年に始まった。この年発表された第5世代のクロノグラフには、名エンジンを搭載するビュッカー・ユングマイスターの最も初期の機体が描かれていた。この航空機は、非常に高度なアクロバティック飛行のために特別に製造されたものだ。この機体のエングレーヴィングは、2005年以来、シースルーバック仕様の「エアマン」の全モデルに採用されている。ローズゴールドを使った2005年の「エアマン 7」は、グライシン・ブランドでは、ボールベアリング付きの自動巻きローターに初めてゴールドのコーティングを施したモデルだった。2009年の「エアマン 7 ゴールド リム」は、クラフトマンシップが駆使された本物のマスターピースである（56-57ページ）。



エアマン D 24

エアマン クロノ 08

Rare Airman

「エアマン」は、長年に渡って私たちを驚かせてきた。本書の第1版の出版に際して、私はそのすべてを網羅したと思っていた。しかし、古い「エアマン」の特別なモデルを発見したときは、残念なことに印刷は終わっていたのだった。私が巨大なインターネットのオークション市場でそれを見つけると、少額で入札をした。驚くことに、落札したのは私だった。後になって気付いたのだが、「エアマン」の多くのコレクターは、それを“フランケン・ウォッチ(パーツを組み替えた非純正時計)”として、退けていたのである。ブラック・ダイヤルにペンシル型針を配した「エアマン」は、これまでの15年間で初めて目にしたものであり、唯一のタイプである。

1か月も経たないうちに、「グライシン・チーフ・チューラー」(本書79ページ)を発見したと公表したビル・シェインから連絡を受けた。この異例の「エアマン」は、1953年から1954年にチューリッヒの宝飾店チューラーのために作られたものだった。ピンク色の取扱説明書の16から17ページを開くと、事情が詳らかになった。すなわち、「チーフ」は、海軍や空軍向けの「エアマン」だという。

厳密に言うと、この「チーフ」は「エアマン」ではないのである。「チーフ」と「SSTクロノグラフ」の2つだけが、ダイヤルに「エアマン」と記されなかった例外的なモデルだからだ(「グライシンGMT 2000」もまたダイヤルに「エアマン」がないが、これはヴェルナー・ジークリストがライセンス生産したもの)。

また、ベゼルに不均等の数字を刻んだ「エアマン PM/AM」も疑問視されてきたが、初期のピンク色の取扱説明書によって、このバリエーション・モデルが1953年から1954年頃に入手可能だったことが明らかになった。

数字の12がダイヤルの上の位置にある3つの「エアマン」も、よく知られたレア・モデルだが、これらはAOPAやロータリー向けに発表されたものである。

レア・モデルのいくつかは、なお疑ってかかる必要がある。とりわけブラック・ダイヤルの「エアマン PM/AM」だ。ケースとベゼルは本物のように見えるが、針は取り替えられており、ダイヤルにはPM/DMの代わりにDM/AMと記されている(右ページ)。

そのダイヤルをよくよく見ると、「エアマン」のプロトタイプではないかと思わせるものがある。数字のタイプフェイスが異なり、ダイヤルに「エアマン」の文字も記されていないが、針の形やケース、ベゼルは正しい。しかし、これがオリジナルのままのダイヤルなのか、ペイントし直されたものなのか、疑問は残る。

レア・モデルとされる「エアマン」は、必ずしもヴィンテージ・モデルとは限らない。

オランダのDZVLウォッチ・フォーラムのガート・ティボシュの主導によって始まった「エアマン PM/AM」の復刻プロジェクトは、非常にレアな「エアマン」を生み出した。2011年に発表されたそのプロトタイプは、オリジナルそっくりのドーフィン針を備え、ダイヤルの24時間目盛りの数字の6が3に置き換えられている。このモデルは実際に「エアマン ヴィンテージ 1953」の名で市販された。

観察力の鋭いコレクターにとっては、1998年に発表された「エアマン 2000」のレア・モデルが興味深い。裏はオリジナル通りのシースルーバックだが、2004年に人気の的になる新しいエングレーヴィングを施した自動巻きローターが装備されているのである。まだまだレア・モデルが姿を現すだろう。私はそう確信している。

60-61ページ:「エアマン ヴィンテージ 1953」のプロトタイプ、2011年

エアマン PM AM 均等/不均等ベゼル

エアマン DM AM

エアマン プロトタイプ

エアマン ブラック・ダイヤル、小針付き

エアマン 2000 の裏蓋

エアマン ヴィンテージ 1953 プロトタイプ

Fakes

大きく平坦な時針
後部が長い秒針
リューズ
誤ったフォント
シリンダー
GLYCINE
AIRMAN
AUTOMATIC
SPECIAL
長すぎる分針
文字の大きさがすべて同じ
フォントの色
天地が逆の40
ペイントの汚点

偽物の「エアマン」について、2004年に初めて私に連絡を寄越したのは、デンマークのクルトだった。当初は偽物の「エアマン」が存在しているとの考えを排除しようとした。「エアマン」を偽造するだと？　なぜそんなことをするのかと思い悩んだのである。10年以上に渡って私が収集したさまざまな写真を分析してから、私はどこかが間違っているとの結論に達した。そこで、アメリカにいる専門家のヴェルナー・ジークリストに連絡する時が来た。彼は、2004年以来、品質の劣悪な多数の「エアマン」に接してきた。それらが本物のように見えるのは、古いケースや残ったムーブメントを組み合わせて作り、「エアマン」のように仕立てているからだ。しかし、これらは偽物なのである。針やリューズに使われた素材の品質は疑わしいので、実際に使うと壊れやすい。

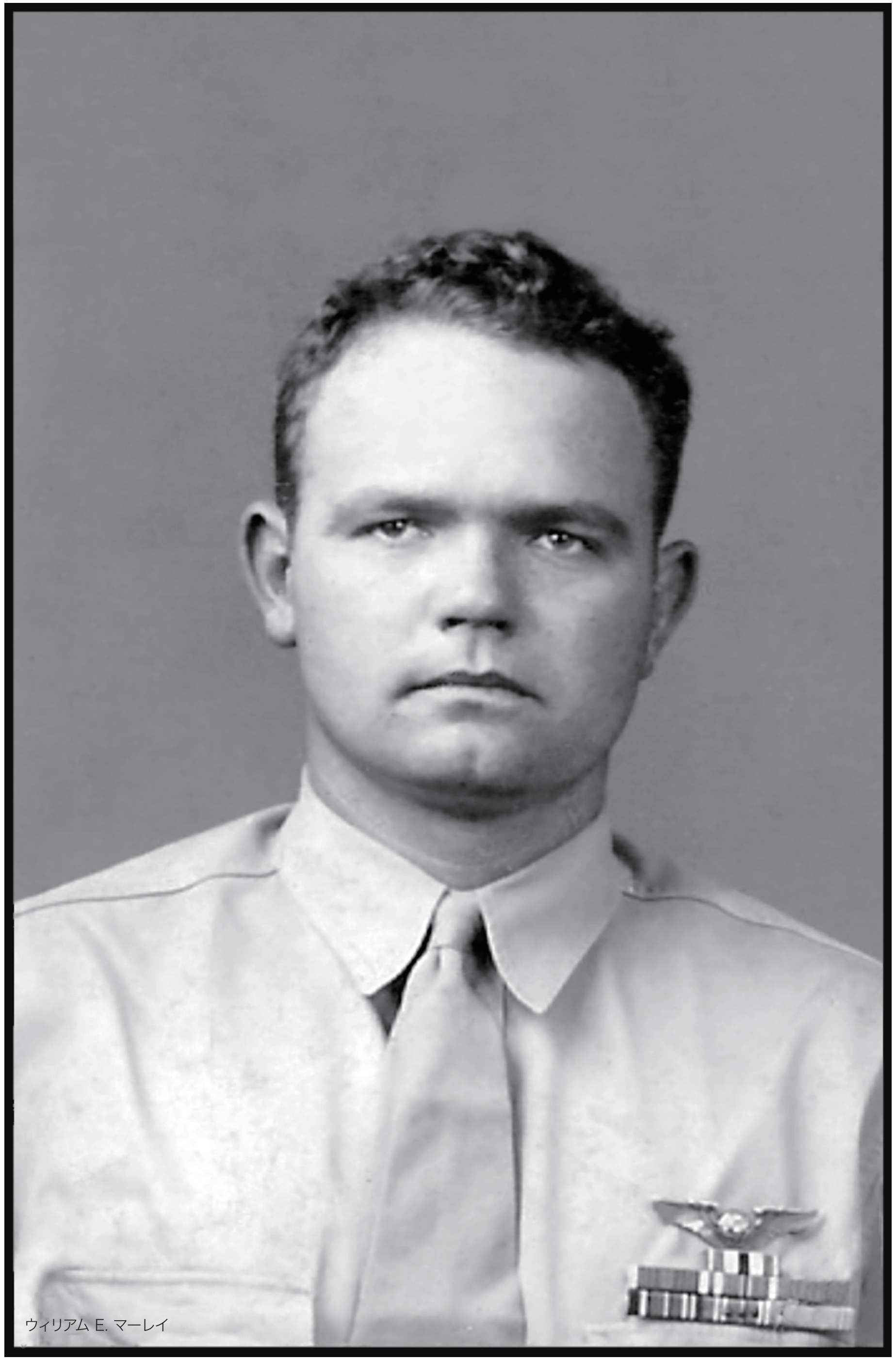
偽物のいくつかの特徴は、以下のように簡単に見分けが付く：
- 使われているタイプフェイスがオリジナルの「エアマン」とはまったく異なる
- 初期の偽物は数字の40が天地逆
- 針がはるかに大きく、平坦
- グライシンのロゴの王冠マークがすべて白
- 第2リューズに奇妙な形の小さなシリンダーが突き出ている
- 日付表示がない、第2リューズがないなど

しかし、こうした特徴が見られとしても、その時計が本物か否かを断定するのは難しい。オリジナルであっても、ダイヤルのペイントもしくはペイントのやり直しがまずい場合もある。壊れた第2リューズを誰かができるかぎり元通りに修理しようとしたのかもしれない。オリジナルの針が失われ、新しい針をオリジナルのダイヤルにセットした可能性もある。
私たちにできるのは、こうした偽物の「エアマン」の起源を推測することだけである。偽物が多く出回るのはインターネットのおかげだと一般的に言われているが、しかしまた、ベトナムや周辺国を旅するアメリカ人旅行者が非常に多いという事実も考えなくてはならない。現地に置き去りにされ、壊れてしまった古い「エアマン」が地元のフリーマーケットでよく売られており、中古のケースやムーブメントを使ってまがい物の「エアマン」を作ろうと考える者が現れたともいえる。
同じ時期に「エアマン 7」のコピー・モデルが登場した。この偽造時計は、スモール・ダイヤルのほうに2個のクォーツ・ムーブメントを使っているので簡単に偽物と見分けが付く。外観はよくできていても、子細に確かめると、明らかに安物の模造品であることがばれるような時計なのである。
この時計の革新的なデザインはまた、少なくとも2社の時計メーカーによって模倣された。

「エアマン 7」の偽物

最初のエアマンたちとは、どのような人物だったのか。第二次世界大戦が終わると、B-29やランカスター爆撃機は、民間の商用エアラインに転用された。商業航空は急速に発展し、優秀なパイロットや航空機の需要が高まった。その需要に応えたのは軍人のパイロットやダグラスDC3といった商用機の開発であった。
この物語は、「エアマン PM/AM」を1953年頃に日本に実際にもたらすことになった最初のエアマンの話である。
1941年10月23日、ウィリアム E. マーレイは空軍に入隊した。最初の4年は、太平洋の第500爆撃隊や第325爆撃隊とともに、B-25ミッチェル爆撃機を操縦していた。終戦間近に彼の爆撃機は太平洋で撃墜され、救命ボートで洋上を10日間もさまよいながら生き延びた。
彼は軍務に服していた期間にさまざまな勲章を授与された。パープル・ハート・メダル、ブロンズ・スター、エアー・メダル、ソルジャー・メダル、アジアティック・パシフィック・キャンペーン・メダル、WWIIビクトリー・メダル、アメリカン・キャンペーン・メダル、アメリカン・ディフェンス・メダル、フィリピン・リベレイション・リボン、グッド・コンタクト・メダルなどだ。
終戦を迎えると、ウィリアムは商用エアラインのパイロットになった。彼を最初に雇ったのは日本航空(JAL)だった。当初は、機体を日本に輸送したり、日本のパイロットたちの飛行訓練を行っていた。そして最後は日本航空のチーフ・パイロットに昇格する。彼は日本語と中国語を流ちょうに話すことができたので、日本航空は日本語のフライト・マニュアルをアメリカ人パイロット用に英語に翻訳させた。
ウィリアムは、日本航空の在職期間に一時職を休んでヨルダンに向かった。ハッサン王から個人的に要請を受け、ヨルダン航空の発展と拡大のために助力を求められたからである。
アメリカ空軍での飛行を別にして、ウィリアムは、DC-4やDC-6、DC-7を操縦してトータルで2万時間以上の飛行を記録した。
運行コーディネーターとして活躍した彼は、1969年に日本航空を辞し、2005年4月30日に亡くなった。

68-69ページ:「エアマン」を着けた有名なパイロット。出所不明(エディ・ボシュマによる画像加工)


ウィリアム E. マーレイ

Model Overview

AIRMAN 1953

Pat.	314050
MOVEMENT	
Caliber	Felsa 692
Function	24 Hours, minutes and seconds, red date
Size	11 ½ “
Jewels	23 jewels
Power Reserve	44 hours
Hz	2 ½ Hz
Incabloc	
Anti-magnetic	
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	36 mm without crown
Height	11.50 mm
Finish	satin / polished
Waterproof	water protected
Back	screwed
Glass	Hesalith plexi dome shaped
Dial	white and ivory
Hands	stainless steel with lume
Crown	pull
STRAP	
Material	calf leather
Width	20 mm horns
Buckle	belt
NICKNAME	Airman PM AM
Special features	*top ring is positioned by a special spacer system at 4h* *limited edition*
Bezel variation	*1,3,5,7,9,11,12* *2,4,6,8,10,12*

Picture is made by Betsy Dougherty and modified in photoshop by Eddie Boschma to match the other pictures in the book

AIRMAN 1953

Pat.	314050
MOVEMENT	
Caliber	**Felsa 692**
Function	**24 Hours, minutes and seconds, red date**
Size	**11 ½ “**
Jewels	**23 jewels**
Power Reserve	**44 hours**
Hz	**2 ½ Hz**
Hack second	
Incabloc	
Anti-magnetic	
CASE, DIAL & HANDS	
Material	**stainless steel**
Diameter	**36 mm without crown**
Height	**11.50 mm**
Finish	**satin / polished**
Waterproof	**water protected**
Back	**screwed**
Glass	**Hesalith plexi dome shaped**
Dial	**black, white and champagne with luminous dots**
Hands	**stainless steel with lume, small hour hand & minute hand with tail**
Crown	**pull**
STRAP	
Material	**calf leather**
Width	**20 mm horns**
Buckle	**belt**
Special features	*top ring is positioned by a special spacer system at 4h* *limited edition*
Bezel variation	*1,3,5,7,9,11,12* *2,4,6,8,10,12*

THE CHIEF Türler 1953

Pat. 314050

MOVEMENT	
Caliber	Felsa 692
Function	24 Hours, minutes and seconds, red date
Size	11 ½ "
Jewels	23 jewels
Power Reserve	44 hours
Hz	2 ½ Hz
Hack second	
Incabloc	
Anti-magnetic	
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	36 mm without crown
Height	11.50 mm
Finish	satin / polished
Waterproof	water protected
Back	screwed
Glass	Hesalith plexi dome shaped
Dial	black, white and champagne with luminous dots
Hands	stainless steel with lume, small hour hand & minute hand with tail
Crown	pull
STRAP	
Material	calf leather
Width	20 mm horns
Buckle	belt
NAME	Türler is a famous Watches & Jewelry store in Zürich this model is specialy made for the Türler store Technically speaking, this is not an Airman but a Chief
Special features	*top ring is positioned by a special spacer system at 4h* *limited edition*

Picture is made by Bill Shaine and modified in photoshop by Eddie Boschma to match the other pictures in the book

AIRMAN 1953-1960

Pat.	314050
MOVEMENT	
Caliber	Felsa 692
Function	24 Hours, minutes and seconds, red date
Size	11 ½ "
Jewels	23 jewels
Power Reserve	44 hours
Hz	2 ½ Hz
Hack second	
Incabloc	
Anti-magnetic	
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	36 mm without crown
Height	11.50 mm
Finish	satin / polished
Waterproof	water protected
Back	screwed
Glass	Hesalith plexi dome shaped
Dial	black, white and champagne with luminous dots
Hands	stainless steel with lume
Crown	pull
STRAP	
Material	calf leather
Width	20 mm horns
Buckle	belt
Special features	*top ring is positioned by a special spacer system at 4h*

Picture is made by Lau Siew Ming and modified in photoshop by Eddie Boschma to match the other pictures in the book

AIRMAN Special 1953-1960

Pat.	314050
MOVEMENT	
Caliber	Felsa 692
Function	24 Hours, minutes and seconds, red date for 24 on top
Size	11 ½ “
Jewels	23 jewels
Power Reserve	44 hours
Hz	2 ½ Hz
Hack second	
Incabloc	
Anti-magnetic	
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	36 mm without crown
Height	11.50 mm
Finish	satin / polished
Waterproof	water protected
Back	screwed
Glass	Hesalith plexi dome shaped
Dial	black
Hands	stainless steel with lume
Crown	pull
STRAP	
Material	calf leather
Width	20 mm horns
Buckle	belt
NICKNAME	12 on top, for Airman Special with 12 on top with black date
Special features	*top ring is positioned by a special spacer system at 4h* *limited edition 12 on top* *all Airman Special have 17 jewels*

Picture is made by Bill Shaine and modified in photoshop by Eddie Boschma to match the other pictures in the book

AIRMAN 1960–1978

Pat. 314050

MOVEMENTS

Caliber	A. Schild 1701: 1960–1967, A. Schild 1903: 1967–1971 A. Schild 2063: 1971–1974, A. Schild 2163: 1974–1978
Function	24 Hours, minutes and seconds, date
Size	11 ½ "
Jewels	A. Schild 1701, AS 1903, AS 2063 and AS 2163: 25 jewels
Power Reserve	A. Schild 1903: 44 hours A. Schild 1701: 42 hours A. Schild 2063 and A. Schild 2163: 45 hours
Hz	A. Schild 1701 and A. Schild 1903: 2 ½ Hz A. Schild 2063: 3 Hz and A. Schild 2163: 4 Hz
Setting date	A. Schil 1701 and A. Schild 1903: back and forth between 20–24 A. Schild 2063 and A. Schild 2163: quickset
Hack second	
Incabloc	
Anti-magnetic	

CASE, DIAL & HANDS

Material	stainless steel
Diameter	36 mm without crown
Height	11.50 mm
Finish	satin / polished
Waterproof	water protected
Back	screwed till the mid 60's followed by pushdown
Glass	Hesalith plexi dome shaped
Dial	black with luminous dots
Hands	stainless steel with lume
Crown	pull

STRAPS & BRACELET

Material	calf leather
Width	20 mm horns
Buckle	belt
Material	stainless steel
Finish	satin
Width	20 mm horns

Special features *top ring is positioned by a special spacer system at 4h*

AIRMAN Special 1960–1978

Pat.	314050

MOVEMENTS

Caliber	A. Schild 1701: 1960–1967 A. Schild 2063: 1971–1974 A. Schild 2163: 1974–1978
Function	24 Hours, minutes and seconds, date
Size	11 ½ "
Jewels	17 jewels
Power Reserve	A. Schild 1701: 42 hours A. Schild 2063 and A. Schild 2163: 45 hours
Hz	A. Schild 1701: 2 ½ Hz A. Schild 2063: 3 Hz and A. Schild 2163: 4 Hz
Setting date	A. Schild 1701: back and forth between 20–24 A. Schild 2063 and 2163 quick set
Hack second	
Incabloc	
Anti-magnetic	

CASE, DIAL & HANDS

Material	stainless steel
Diameter	36 mm without crown
Height	11.50 mm
Finish	satin / polished
Waterproof	water protected
Back	screwed till the mid 60's followed by pushdown
Glass	Hesalith plexi dome shaped
Dial	black with luminous dots
Hands	stainless steel with lume
Crown	pull

STRAPS

Material	calf leather
Width	20 mm horns
Buckle	belt
Material	stainless steel
Finish	satin
Width	20 mm horns

Special features — *top ring is positioned by a special spacer system at 4h*
all Airman Special have 17 jewels

AIRMAN SST 1967-1978

Ref.	323. 1219
MOVEMENTS	
Caliber	A. Schild 1903: 1967-1971
	A. Schild 2063: 1971-1974
	A. Schild 2163: 1974-1978
Function	24 Hours, minutes and seconds, date
Size	11 ½ "
Jewels	25 jewels
Power Reserve	A. Schild 1903 44 hours
	A. Schild 2063 and A. Schild 2163: 45 hours
Hz	A. Schild 1903: 2 ½ Hz
	A. Schild 2063: 3 Hz and A. Schild 2163: 4 Hz
Hack second	
Setting date	A. Schild 1903: back and forth between 20-24
	A. Schild 2063 and A. Schild 2163 quickset
Incabloc	
Anti-magnetic	
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	41,5 mm without crown
Height	11.50 mm
Finish	brushed / polished
Waterproof	water protected
Back	pushdown
Glass	Hesalith plexi dome shaped
Dial	black/grey
Hands	stainless steel with lume
Crown	pull
STRAPS & BRACELET	
Material	calf leather
Width	22 mm horns
Buckle	belt
Material	stainless steel
Finish	satin
Width	22 mm horns
NICKNAME	Pumpkin
	SST stands for SuperSonic Transporter
Special features	*inner revolving 24-hour ring served by slit-headed crown at 2h*

AIRMAN SST Chronograph 1968

Ref.	399. 2119
MOVEMENT	
Caliber	Valjoux 72
Function	24 Hours, minutes and seconds Chronograph 60 sec, counters 30 min and 12 hrs
Size	13 “
Jewels	17 jewels
Power Reserve	46 hours
Hz	2 ½ Hz
Incabloc	
Anti-magnetic	
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	43 mm without crown
Height	15,5 mm
Finish	brushed / polished
Waterproof	water protected
Back	screwed
Glass	Hesalith plexi dome shaped
Dial	black / blue with white sub dials
Hands	stainless steel with lume
Crown	pull, push
STRAPS & BRACELET	
Material	calf leather
Width	22 mm horns
Buckle	belt
Material	stainless steel
Finish	satin
Width	22 mm horns
Special features	*inner revolving 24-hour ring served by slit-headed crown at 8h* *limited edition of 100 timepieces* *Airman without the model name Airman on the dial*

AIRMAN Quartz 1978–1988

Ref.	823. 111
MOVEMENT	
Caliber	FHF 960.111 analogue quartz movement
Function	24 Hours, minutes, seconds and date
Size	11 ½ “
Jewels	9 jewels
Hz	32’768
Anti-magnetic	
CASE, DIAL & HANDS	
Material	bicolor, stainless steel
Diameter	34 mm without crown
Height	10.60 mm
Finish	satin
Waterproof	10 atm
Back	screwed
Glass	mineral flat
Dial	black, blue “dégradé” evidencing day and night
Hands	white with lume
Crown	pull
STRAPS	
Material	calf leather
Width	19 mm horns
Buckle	belt
Material	bicolor, stainless steel
Finish	satin
Width	19 mm horns
Special features	*revolving bezel*

AIRMAN World Time Watch 1990

Ref. 3323

MOVEMENT	
Caliber	ETA 955.425 quartz movement
Function	24 Hours, minutes, seconds and date
Size	10 ½ "
Jewels	7 jewels
Hz	32'768
CASE, DIAL & HANDS	
Material	bicolor, stainless steel
Diameter	38 mm without crown
Height	9 mm with solid back
Finish	satin
Waterproof	20 atm
Back	solid steel screwed
Glass	sapphire
Dial	blue, black with Arabic figures, white with blue/silver circle, white with blue / yellow circle
Hands	stainless steel with lume
Crown	screw-down
STRAPS & BRACELET	
Material	calf leather
Colors	black, blue and brown
Width	20 mm horns / 18 mm buckle
Buckle	belt
Material	bicolor, stainless steel
Finish	satin
Width	20 mm horns / 16 mm buckle
Special features	*revolving outer and inner bezels*

AIRMAN 2000 1998-2006

Ref.	3764
MOVEMENT	
Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and date red colored 24 hour hand
Size	11 ½ "
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève"
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	42 mm without crown
Height	11 mm with solid back, 11,50 mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	solid steel screwed / screwed see-through mineral glass
Glass	sapphire
Dial	black with SL, blue with SL, burgundy with SL, white with SL
Hands	nickel with SL
Crown	screw-down
STRAPS & BRACELET	
Material	calf leather
Colors	black, brown and yellow
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Material	stainless steel
Finish	satin
Width	22 mm horns / 20 mm buckle
Clasp	diver
Special features	*revolving top ring with ratchet system*
Edition Ref. 3764.66	*24-hour hand only*

AIRMAN 46mm 1999-2006

Ref. 3820

MOVEMENT	
Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and date red colored 24 hour hand
Size	11 ½ "
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève"
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	46 mm without crown
Height	10.50 mm with solid back, 11 mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	solid steel screwed / screwed see-through mineral glass
Glass	sapphire
Dial	black with SL, blue with SL, yellow with SL
Hands	black with SL, nickel with SL
Crown	screw-down
STRAPS & BRACELET	
Material	calf leather
Colors	black, blue and brown
Width	24 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Material	natural rubber
Colors	black
Width	24 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Material	stainless steel
Finish	satin / polished
Width	24 mm horns / 24 mm buckle
Clasp	deployment
Special features	*top ring is positioned by a special spacer system at 4h*
Edition Ref. 3820.66	*24-hour hand only*

AIRMAN 7 2002

Ref. 3829, 3845

MOVEMENTS	
Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and date red colored 24 hour hand
Size	11 ½ "
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève"
Caliber	2 x ETA 2671-2 automatic
Function	12 hours and minutes
Size	7 ¾ "
Jewels	25
Power Reserve	38 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hours
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève"
CASE, DIALS & HANDS	
Material	stainless steel, 18 ct rose gold
Diameter	53 mm without crown
Height	12.50 mm see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	5 atm
Back	screwed see-through sapphire glass
Glass	sapphire
Dial	black with SL, copper with SL, silver with SL and yellow with SL black guilloche with SL
Hands	black with SL, white with SL, gilt with SL
Crown	sticker crown
STRAPS	
Material	high class leather, calf, natural rubber
Colors	black and brown, black
Width	24 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Special features	*displays 4 time zones simultaneously*
Ref. 3829	*limited edition 50 timepieces, diamonds: wesselton VSG full cut on case plate 1,13 ct on top ring 0,60 ct*
Ref. 3845	*limited edition 50 gold timepieces*

AIRMAN 7 Titanium Black DLC 2008

Ref. 3881, 3882, 3892

MOVEMENTS	
Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and date red colored 24 hour hand
Size	11 ½ "
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève" ** yellow gold coated oscillating weight on ball bearing, branded GLYCINE
Caliber	2 x ETA 2671-2 automatic
Function	12 hours
Size	7 ¾ "
Jewels	25
Power Reserve	38 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hours
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève" **
CASE, DIALS & HANDS	
Material	titanium, titanium with black DLC coating, 18ct red gold
Diameter	53 mm without crown
Height	12.50 mm with see-through back
Finish	satin
Waterproof	5 atm
Back	screwed see-through sapphire glass
Glass	domed sapphire
Dial	movement holder carbon fiber, dial black with SL
Hands	nickel with SL, gilt with SL
Crown	3h screw-down, 8h and 10h sticker crown
STRAP	
Material	calf leather
Colors	black
Width	24 mm horns / 24 mm buckle
Buckle	belt
Special features	*displays 4 time zones simultaneously*
*Ref. 3892***	*limited edition 10 timepieces with golden rim 2009*

AIRMAN 8 2002-2006

Ref.	3831
MOVEMENT	
Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and date red colored 24 hour hand
Size	11 ½ "
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève"
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	36 mm without crown
Height	10.50 mm with solid back, 11 mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	solid steel screwed / screwed see-through mineral glass
Glass	sapphire
Dial	black with SL, blue with SL, champagne with SL, copper with SL, white with SL
Hands	black with SL, nickel with SL
Crown	screw-down
STRAPS & BRACELET	
Material	calf leather
Colors	black, blue and brown
Width	20 mm horns / 18 mm buckle
Buckle	belt
Material	stainless steel
Finish	satin / polished
Width	20 mm horns / 20 mm buckle
Clasp	deployment
Special features	*top ring is positioned by a special spacer system at 4h*
Edition Ref. 3831.66	*24-hour hand only*

AIRMAN 9 2004-2008

Ref.	3840

MOVEMENT

Caliber	ETA 7754 automatic, dual time
Function	12 Hours, minutes, seconds and black date red colored 24 hour hand Chronograph 60 sec, counter 30 min and 12 hrs
Size	13 ¼ "
Jewels	25 jewels
Power Reserve	48 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	rose gold coated oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève", engraved by an airplane. Bridges rhodium coated and decorated "perlé" visible screws in blue finish.

CASE, DIAL & HANDS

Material	stainless steel
Diameter	44 mm without crown
Height	15 mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed see-through sapphire glass
Glass	sapphire
Dial	black with SL, blue with SL, white with SL
Hands	nickel with SL
Crown	screw-down

STRAPS & BRACELET

Material	calf leather
Colors	black, blue, light blue and red
Width	22 mm horns / 20 mm buckle
Buckle	deployment
Material	natural rubber
Colors	black, orange
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Material	stainless steel
Finish	satin / polished
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Clasp	deployment

Special features	*bi-directional turning bezel with ratchet system and 24-hour scale*

AIRMAN MLV 2004

Ref. 3830

MOVEMENT

Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and date red colored 24 hour hand
Size	11 ½ "
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève"

CASE, DIAL & HANDS

Material	stainless steel
Diameter	42 mm without crown
Height	11.50 mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed see-through mineral glass
Glass	sapphire
Dial	self luminescent dial treated superluminova
Hands	black
Crown	double o ring screw-down

STRAPS & BRACELET

Material	calf leather
Colors	black, blue and brown
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Material	natural rubber
Colors	black
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Material	stainless steel
Finish	satin / polished
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Clasp	diver

Special features — *revolving top ring with ratchet system, plated in satin black PVD*
limited edition 500 pieces

AIRMAN Special 2004

Ref.	3836
MOVEMENT	
Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	24 Hours, minutes, seconds and date
Size	11 ½ "
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève"
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	46 mm without crown
Height	11.50 mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed see-through mineral glass
Glass	domed sapphire
Dial	blue dégradé
Hands	nickel with SL
Crown	screw-down
STRAP & BRACELET	
Material	calf leather
Colors	black with stiching
Width	24 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Material	stainless steel
Finish	satin / polished
Width	24 mm horns / 24 mm buckle
Clasp	deployment
Special features	*top ring is positioned by a special spacer system at 4h* *limited edition 200 pieces*

AIRMAN Vintage V 2005

Ref. 3853

MOVEMENT	
Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	24 Hours, minutes, seconds and red date
Size	11 ½ “
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28’800 vibrations per hour
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated “Côtes de Genève”, and bears the engraving of an airplane
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	36 mm without crown
Height	11.50 mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed see-through mineral glass
Glass	domed sapphire
Dial	grey dégradé
Hands	nickel with SL
Crown	screw-down
STRAPS	
Material	calf leather
Colors	black and brown
Width	20 mm horns / 18 mm buckle
Buckle	belt
Material	corrugated rubber
Colours	khaki
Width	20 mm horns / 20 mm buckle
Clasp	belt
Special features	*top ring is positioned by a special spacer system at 4h* *trapezoidal date display with red date numerals* *12 on top* *limited edition 150 pieces*

AIRMAN Double 24 2006

Ref. 3852

MOVEMENT

Caliber	2424 / ETA 2893-2 automatic movement
Function	2x24 Hours, minutes, seconds and date
Size	11 ½ “
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	oscillating weight on ball bearing is yellow gold coated, decorated “Côtes de Genève”, and bears the engraving of the name giving Airplaine SST. Bridges rhodium coated and decorated “perlé”, visible screws in blue finish.

CASE, DIAL & HANDS

Material	stainless steel
Diameter	44 mm without crown
Height	11.50 mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed see-through mineral glass
Glass	sapphire AR
Dial	black with SL and white with SL
Hands	nickel with SL
Crown	screw-down

STRAPS & BRACELET

Material	calf leather
Colors	black
Width	24 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Material	natural rubber
Colours	black
Width	24 mm horns / 24 mm buckle
Clasp	belt
Material	stainless steel
Finish	satin / polished
Width	24 mm horns / 22 mm buckle
Clasp	deployment

Special features — *world timer offering simultaneously 3 different 24-hour time zones.*
inner revolving 24-hour ring served by slit-headed crown at 2h.
limited edition 300 pieces

AIRMAN SST 06 2006

Ref. 3856

MOVEMENT

Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and date
Size	11 ½ "
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	oscillating weight on ball is rhodium coated, decorated "Côtes de Genève", and bears the engraving of an airplane

CASE, DIAL & HANDS

Material	stainless steel
Diameter	44 mm without crown
Height	11 mm
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	solid steel screwed
Glass	sapphire AR
Dial	black with SL and inner revolving 24h ring in black or orange, blue with SL and inner revolving 24h ring in blue
Hands	nickel with SL
Crown	screw-down

STRAPS & BRACELET

Material	calf leather
Colors	black, blue and brown
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt

Special features	*inner revolving 24-hour ring served by slit-headed crown at 2h. steel back with silhouette of its namesake The Boeing Supersonic Transport*
Edition Ref. 3856.106 / 66-1	*24-hour hand only*

AIRMAN 7 Crosswise 2006

Ref. 3841

MOVEMENTS

Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and date red colored 24 hour hand
Size	11 ½ "
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève", and bears the engraving of an airplane
Caliber	2 x ETA 2671-2 automatic
Function	12 hours and minutes
Size	7 ¾ "
Jewels	25
Power Reserve	38 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hours
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève"

CASE, DIALS & HANDS

Material	stainless steel
Diameter	53 mm without crown
Height	12.50 mm see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	5 atm
Back	sapphire glass AR
Glass	sapphire AR
Dial	black with SL, blue with SL / blue, black, self luminescent treated with Superluminova in blue orange and yellow
Hands	Black, white with SL
Crown	9h screw-down, 2h and 4h sticker crown

STRAPS

Material	calf and natural rubber
Colors	black blue and orange, black
Width	24 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt

Special features *displays 4 time zones simultaneously*

AIRMAN 7 Plaza Mayor 2007

Ref. 3861, 3870

MOVEMENTS	
Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and date red colored 24 hour hand
Size	11 ½ "
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève", and bears the engraving of an airplane ** yellow gold coated oscillating weight on ball bearing, branded GLYCINE
Caliber	2 x ETA 2671-2 automatic
Function	12 hours and minutes
Size	7 ¾ "
Jewels	25
Power Reserve	38 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hours
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève" **
CASE, DIALS & HANDS	
Material	stainless steel, 18 ct yellow gold
Diameter	53 x 53 mm without crown
Height	12 mm see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	5 atm
Back	sapphire glass AR
Glass	sapphire AR
Dial	black carbon fiber with SL, dark blue carbon fiber and dark blue carbon fiber with SL
Hands	white with SL, gilt with SL
Crown	2h screw-down, 4h and 8h sticker crown
STRAPS	
Material	calf, high class leather
Colors	black blue and brown, black
Width	28 mm horns / 24 mm buckle
Buckle	belt, 18 ct belt buckle
Special features	*displays 4 time zones simultaneously*
*Ref. 3870***	*limited edition 20 timepieces*

AIRMAN 7 Plaza Mayor Titanium DLC 2008

Ref. 3883, 3884

MOVEMENTS	
Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and date red colored 24 hour hand
Size	11 ½ “
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28’800 vibrations per hour
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated “Côtes de Genève”, and bears the engraving of an airplane
Caliber	2 x ETA 2671-2 automatic
Function	12 hours
Size	7 ¾ “
Jewels	25
Power Reserve	38 hours
Hz	4/28’800 vibrations per hours
Finish	rhodium coated, oscillating weight on ball bearing, decorated “Côtes de Genève”
CASE, DIALS & HANDS	
Material	titanium with black DLC coating
Diameter	53 x 53 mm without crown
Height	12 mm see-through back
Finish	satin
Waterproof	5 atm
Back	sapphire glass AR
Glass	sapphire AR
Dial	black with SL
Hands	nickel with SL
Crown	2h screw-down, 4h and 8h sticker crown
STRAPS	
Material	calf
Colors	black blue and brown
Width	28 mm horns / 24 mm buckle
Buckle	belt
Special features	*displays 4 time zones simultaneously*

AIRMAN 17 2007

Ref. 3865

MOVEMENT	
Caliber	ETA A07.171 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and white date red colored 24 hour hand
Size	16 ½ “
Jewels	24 jewels
Power Reserve	46 hours
Hz	4/28’800 vibrations per hour
Finish	oscillating weight on ball bearing is rhodium coated, decorated “Côtes de Genève”, and bears the engraving of an airplane, bridges rhodium coated and decorated “perlé”, visible screws in blue finish
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	46 mm without crown
Height	15mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed see-through sapphire glass
Glass	sapphire AR
Dial	black with SL, blue dégradé with SL and yellow with SL
Hands	black with SL and nickel SL
Crown	screw-down
STRAPS & BRACELET	
Material	calf leather
Colors	black and blue
Width	24 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Material	stainless steel
Finish	satin / polished
Width	24 mm horns / 24 mm buckle
Clasp	deployment
Special features	*topring is positioned by a special ratchet spacer system at 4h*
Edition ref.	
3865.18/66-LB8	*24-hour hand only*

AIRMAN 17 Royal 2012

Ref. 3865.38-LB8B

MOVEMENT

Caliber	ETA A07.171 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and date red colored 24 hour hand
Size	16 ½ "
Jewels	24 jewels
Power Reserve	46 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	oscillating weight on ball bearing is rhodium coated, decorated "Côtes de Genève", and bears the engraving of an airplane, bridges rhodium coated and decorated "perlé", visible screws in blue finish

CASE, DIAL & HANDS

Material	stainless steel, topring 18ct 5N redgold
Diameter	46 mm without crown
Height	15mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed see-through sapphire glass
Glass	sapphire AR
Dial	blue dégradé with SL
Hands	gilt with SL
Crown	screw-down

STRAPS & BRACELET

Material	calf leather
Colors	black and blue
Width	24 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt

Special features *topring is positioned by a special ratchet spacer system at 4h*

AIRMAN 18 2007

Ref. 3866

MOVEMENT	
Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and white date red colored 24 hour hand
Size	11 ½ “
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28’800 vibrations per hour
Finish	oscillating weight on ball bearing is rhodium coated, decorated “Côtes de Genève”, and bears the engraving of an airplane
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	38 mm without crown
Height	11.5 mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed see-through sapphire glass
Glass	sapphire AR
Dial	black with SL, blue dégradé with SL and yellow with SL
Hands	black with SL and nickel SL
Crown	screw-down
STRAPS & BRACELET	
Material	calf leather
Colors	black and blue
Width	20 mm horns / 20 mm buckle
Buckle	belt
Material	natural rubber
Colors	black
Width	20 mm horns / 20 mm buckle
Buckle	belt
Material	stainless steel
Finish	satin / polished
Width	20 mm horns / 20 mm buckle
Clasp	deployment

Special features	*topring is positioned by a special ratchet spacer system at 4h*
Edition ref.	
3866.18/66-LB8	*24-hour hand only*

AIRMAN 18 Royal 2012

Ref. 3866.38-LB8B

MOVEMENT	
Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and date red colored 24 hour hand
Size	11 ½ "
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	oscillating weight on ball bearing is rhodium coated, decorated "Côtes de Genève", and bears the engraving of an airplane

CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel, topring 18ct 5N redgold
Diameter	38 mm without crown
Height	11.5 mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed see-through sapphire glass
Glass	sapphire AR
Dial	blue dégradé with SL
Hands	gilt with SL
Crown	screw-down

STRAPS & BRACELET	
Material	calf leather
Colors	black and blue
Width	20 mm horns / 20 mm buckle
Buckle	belt
Material	corrugated rubber
Colors	black, blue and khaki
Width	20 mm horns / 20 mm buckle
Buckle	belt

Special features *topring is positioned by a special ratchet spacer system at 4h*

AIRMAN Special II 2008

Ref. 3877

MOVEMENT	
Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	24 Hours, minutes, seconds and white date
Size	11 ½ "
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	oscillating weight on ball bearing is rhodium coated, decorated "Côtes de Genève", and bears the engraving of an airplane
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	42 mm without crown
Height	11.5 mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed see-through sapphire glass
Glass	sapphire AR
Dial	black with SL
Hands	nickel SL
Crown	screw-down
STRAPS & BRACELET	
Material	calf leather
Colors	black
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Material	natural rubber
Colors	black
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Material	stainless steel
Finish	satin
Width	22 mm horns / 20 mm buckle
Clasp	diver
Special features	*revolving top ring with ratchet system* *limited edition 100 pieces*

AIRMAN Chrono 08 2008

Ref. 3876

MOVEMENT	
Caliber	ETA 7754 automatic
Function	12 Hours, minutes, seconds and black date red colored 24 hour hand Chronograph 60 sec, counters 30 min and 12 hrs
Size	13 ¼ "
Jewels	25 jewels
Power Reserve	46 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	yellow gold coated oscillating weight on ball bearing, decorated "Côtes de Genève", engraved by an airplane. Bridges rhodium coated and decorated "perlé", visible screws in blue finish.
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	46 mm without crown
Height	15.80 mm with with see-through back
Finish	polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed see-through sapphire glass
Glass	sapphire
Dial	black with SL
Hands	nickel with SL
Crown	screw-down
STRAPS	
Material	calf leather
Colors	black
Width	24 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Material	natural rubber
Colors	black
Width	24 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Special features	*interior revolving 24-hour bezel with SL (3rd time zone)* *limited edition of 500 timepieces*

AIRMAN Double 24 09 2009

Ref. 3886

MOVEMENT	
Caliber	2424 / ETA 2893-2 automatic movement
Function	2x24 Hours, minutes, seconds and white date
Size	11 ½ “
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	rhodium coated oscillating weight on ball bearing branded by relief engraving bridges rhodium coated and decorated “perlé”, visible screws in blue finish.
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	44 mm without crown
Height	12 mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed see-through sapphire glass
Glass	sapphire AR
Dial	black with yellow 24 hour scale with SL black with orange 24 hour scale with SL
Hands	nickel with SL
Crown	screw-down
STRAPS	
Material	calf leather
Colors	black, orange and yellow
Width	24 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Material	natural rubber
Colours	black
Width	24 mm horns / 22 mm buckle
Clasp	belt
Special features	*four independent 24-hour time zones.* *limited Edition 300 pieces*

AIRMAN Base 22 2010

Ref. 3887

MOVEMENT	
Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and white date red colored 24 hour hand
Size	11 ½ "
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	oscillating weight on ball bearing is rhodium coated, decorated "Côtes de Genève", and bears the engraving of an airplane
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	42 mm without crown
Height	11.5 mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed see-through mineral glass
Glass	sapphire
Dial	black with SL, silver with SL and blue with SL
Hands	nickel SL
Crown	screw-down
STRAPS & BRACELET	
Material	high-tec tissue or calf leather
Colors	black
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Material	stainless steel
Finish	satin
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Clas	diver
Special features	*top ring is positioned by a special spacer system at 4h with hatched crown*
Edition ref.	
3887.19-LB9B	*GMT Version, red GMT hand*
3887.11/66-LBK9	*24-hour version, purist*
3887.11/GA-LB7BH	*GMT GA Version, 2 short hour hands: one 12-hour, one 24-hour, both with super luminova*
3887.15SL	*MLV dial*

AIRMAN Base 22 Mystery 2012

Ref. 3887

MOVEMENT	
Caliber	ETA 2893-2 automatic movement
Function	12 Hours, minutes, seconds and black date red colored 24 hour hand
Size	11 ½ “
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28’800 vibrations per hour
Finish	oscillating weight on ball bearing is rhodium coated, decorated “Côtes de Genève”, and bears the engraving of an airplane
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel black PVD coated
Diameter	42 mm without crown
Height	11.5 mm with see-through back
Finish	black PVD polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed smoked mineral glass
Glass	sapphire
Dial	black with SL
Hands	black with black SL
Crown	screw-down
STRAPS	
Material	high-tec fabric material
Colors	black
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Special features	*top ring is positioned by a special spacer system at 4h with hatched crown*
Edition ref.	
3887.99-TB99	*GMT Version, red GMT hand*
3887.99/66-TB99	*24-hour version, purist*

AIRMAN F 104 Regulateur 2010

Ref. 3893

MOVEMENT	
Caliber	ETA 6498 / FW 24h
Function	24 Hours, minutes and seconds
Size	16 ½ "
Jewels	17 jewels
Power Reserve	46 hours
Hz	2,5/18'000 vibrations per hour
Finish	diamond finish on ratchet and crown wheel, visible screws in blue finish, decorated "Côtes de Genève"
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	48 mm without crown
Height	11.70 mm with see-through back
Finish	satin / polished
Waterproof	5 atm
Back	screwed see-through mineral glass
Glass	sapphire AR
Dial	black with SL
Hands	nickel SL
Crown	sticker crown
STRAPS	
Material	calf leather
Colors	black, brown
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Special features	*bi-directional turning bezel with ratchet system and 24-hour scale (2nd timezone)*

AIRMAN SST Chronograph 2011

Ref. 3902

MOVEMENT	
Caliber	ETA 7754 automatic
Function	12 Hours, minutes, seconds and black date red colored 24 hour hand
Size	13 ¼ “
Jewels	25 jewels
Power Reserve	46 hours
Hz	4/28’800 vibrations per hour
Finish	yellow gold coated oscillating weight on ball bearing, decorated “Côtes de Genève”, engraved by an airplane. Bridges rhodium coated and decorated “perlé”, visible screws in blue finish.
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	43 mm without crown
Height	15.30 mm
Finish	satin / polished
Waterproof	10 atm
Back	solid steel screwed
Glass	double domed sapphire SL
Dial	black with SL, blue dégradé with SL
Hands	nickel SL
Crown	screw-down
STRAPS	
Material	calf leather
Colors	black, brown and grey
Width	black and brown 22 mm horns / 22 mm buckle grey 22 mm horns / 20 mm buckle
Buckle	belt
Special features	*inner revolving 24 hours ring 3rd timezone served by slit-headed crown at 8h*
Edition ref. 3902.19/66 LBO	*purists of 24-hour watch with two timezones: featuring an arrow-tipped 24hour hand on the 24-hours dial only*

AIRMAN SST 12 2012

Ref. **3903**

MOVEMENT	
Caliber	ETA 2893-2 automatic
Function	12 Hours, minutes, seconds and white date red colored 24 hour hand
Size	11 ½ “
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	oscillating weight on ball bearing is rhodium coated, decorated “Côtes de Genève”, and bears the engraving of an airplane
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	43 mm without crown
Height	11 mm
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	solid steel screwed
Glass	sapphire AR
Dial	black with SL, blue dégradé with SL
Hands	nickel SL
Crown	screw-down
STRAPS	
Material	calf leather
Colors	black, brown and grey
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Special features	*inner revolving 24 hours ring 3rd timezone served by slit-headed crown at 8h*
Edition ref. 3903.199/66 LBN9	*purists of 24-hour watch with two timezones: featuring an arrow-tipped 24hour hand on the 24-hours dial only*

AIRMAN Vintage 1953 2012

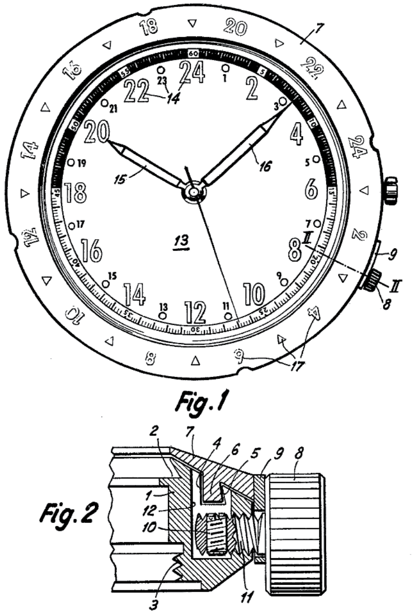
Ref.	**3904**
MOVEMENT	
Caliber	ETA 2893-2 automatic
Function	24 Hours, minutes, seconds and red date
Size	11 ½ "
Jewels	21 jewels
Power Reserve	42 hours
Hz	4/28'800 vibrations per hour
Finish	oscillating weight on ball bearing is rhodium coated, decorated "Côtes de Genève", and bears the engraving of an airplane
CASE, DIAL & HANDS	
Material	stainless steel
Diameter	42 mm without crown
Height	11.80 mm without magnifier
Finish	satin / polished
Waterproof	20 atm
Back	screwed see-through mineral glass
Glass	double domed sapphire with magnifier
Dial	domed, silver
Hands	nickel with special old brown SL
Crown	screw-down
STRAPS	
Material	high-tec fabric material
Colors	black
Width	22 mm horns / 22 mm buckle
Buckle	belt
Special features	*top ring is positioned by a special spacer system at 4h with hatched crown*

Wrap it up

G-A No:
GLYCINE & ALTUS WATCH FACTORIES INC.
BIENNE Switzerland

2009年に私たちは特許状の原本を探していたが、唯一見つかったのは、ハンス＝ヴェルナー、サミュエル・グリュとシャルル・ハーティッヒの名で提出された申請書だった。
個人的にグライシンの歴史を研究するエムル・カーリスは、最近になって偶然それを見つけ出し、グライシンのヴィンテージ・ウォッチを紹介する非公式のウェブサイトglycintennial.comで公開した。エムルはいま、2014年に迎えるグライシンの創業100周年に向けて準備を進めているところだ。
この特許申請書には、サミュエルがシャルルに宛てた手紙に文言が見て取れる。
私は長い間、それが正確には何についての特許なのかを知りたいと思っていたのだが、結局のところ、ロック機構をともなう回転ベゼルだということがわかった。またこの特許には、30分の時差を読み取るための長い尾をもった分針についても触れられている。グライシンは、1953年に発表した「エアマン」によって、第2時間帯の読み取りに回転ベゼルを利用するトレンドセッターになった。だからこそ、異なるタイムゾーンの時刻が同時に読み取れる時計の開発で、グライシンはその先駆者に位置づけられ、世界的に有名なあのGMTウォッチを誕生させることになったのである。
ロレックスは、1954年にGMTムーブメントと24時間ベゼルを組み合わせて「GMTマスター」を発表する。「プッシー・ガロア」のニックネーム（007の映画でこの腕時計が着けた女性に由来）で呼ばれるこのRef.6542は、「ターノグラフ」Ref.6202 のレギュラー・モデルをベースにして開発され、ベゼルとムーブメントに変更を加えたものだった。

Brevet No 314050
1 feuille



特許状の図版

No 314050 — No 314050

CONFÉDÉRATION SUISSE

BUREAU FÉDÉRAL DE LA PROPRIÉTÉ INTELLECTUELLE

EXPOSÉ D'INVENTION

Publié le 14 juillet 1956

Classe 71 k

Hans-Werner-Samuel Glur, Evilard (Berne), est mentionné comme étant l'inventeur

BREVET PRINCIPAL

Hans-Werner-Samuel Glur et Charles Hertig, Evilard (Berne)

Demande déposée : 2 décembre 1953, 18 ½ h. — Brevet enregistré : 31 mai 1956

Montre 24 heures

L'horaire des services de navigation aérienne étant basé sur l'heure de Greenwich (*GMT*), il est indispensable pour le personnel affecté à ces services de pouvoir prendre connaissance à n'importe quel moment de l'heure *GMT*, indépendamment de l'heure locale. Dans ce but, il faut régler sa montre sur l'heure *GMT*. Pour connaître l'heure locale, il faut ou bien utiliser une seconde montre, ou alors faire chaque fois mentalement le calcul de transformation nécessaire. Les montres dites à heure universelle, indiquant simultanément l'heure dans tous les fuseaux, ne donnent pas satisfaction dans le cas particulier.

Le but de l'invention est de remédier à ces inconvénients en créant une montre 24 heures indiquant en même temps seulement deux heures différentes, par exemple l'heure *GMT* et l'heure locale d'un endroit déterminé, et évitant au porteur la nécessité de faire chaque fois une opération mentale d'addition ou de soustraction. Cette montre est caractérisée en ce qu'elle comprend un élément mobile coaxialement au cadran de la montre, cet élément et le cadran portant chacun un tour d'heure gradué de 1 à 24, ledit élément étant monté de manière qu'il soit susceptible d'être amené à volonté dans n'importe quelle position angulaire autour du cadran, et en ce qu'elle comprend en outre des moyens pour fixer momentanément ledit élément dans cette position.

Une forme d'exécution de la montre, objet de l'invention, est représentée, à titre d'exemple, au dessin annexé, dans lequel

la fig. 1 en est une vue en plan; et

la fig. 2 est une vue en coupe d'un détail, suivant la ligne *II-II* de la fig. 1.

La montre représentée comprend une carrure 1, dans laquelle sont taillés un cran de glace 2 et une partie filetée 3, destinée à recevoir un fond étanche non représenté.

Une rainure annulaire 4 est creusée dans la face supérieure de cette carrure 1, de manière que la paroi extérieure 5 de cette rainure soit légèrement conique, en vue de retenir à cran une collerette 6 d'une lunette 7. La rainure 4 et la collerette 6 ont des dimensions telles que la lunette 7 peut être mise en place sans difficultés et tourner coaxialement à la montre pratiquement sans résistance.

Un bouton 8, vissé dans la carrure 1, est destiné à permettre de fixer à volonté la lunette 7 dans n'importe quelle position angulaire déterminée. A cet effet, une plaquette 9, rivée par une extrémité à la périphérie de la carrure 1, et dont l'autre extrémité est engagée entre la lunette 7 et le bouton 8, est pressée par ce

ほとんどの言語において「Glycine」という単語から連想されるのは、タンパク質を構成する“アミノ酢酸（グリシン）”だろう。このグリシンの単離に1820年に初めて成功したのは、フランスの化学者で薬剤師のアンリ・ブラコノーだった。彼はまた、ゼラチンを硫酸に混ぜて沸騰させることによって“ゼラチン糖”を発見したことでも知られる。
植物の「Glycine」という属名は、1737年にカール・フォン・リンネがその著書『Genera Plantarum（植物の属）』の初版の中で初めて用いた。「Glycine」という言葉はギリシア語の「glykys（甘い）」に由来し、梨のような形をした食用塊茎アピオス・アメリカーナ（ギリシアでアピオス、日本名はアメリカホド芋）が作り出す甘味を指す場合にも使われるようだ。
植物の藤を表す「Glycine」と「Wisteria」は、ともに「Fabaceae（ファバセアエ＝マメ科）」属にするが、言語によってなぜ「Glycine」のほうが使われたり、「Wisteria」のほうが使われるのかは定かではない。
イタリア語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ラトヴィア語、フランス語、ガリシア語では、「Glycine」は実際「Wisteria vine（藤づる）」を表す。ドイツ語になると「Glycine」と「Blauregen」だ。
混乱が生じるのは避けられない。
社名の「Glycine」は、「Wisteria vine（藤づる）」に由来する。エムル・カーリスによれば、創業者のユージン・メイランがこの言葉を選んだのは、藤つるが「古いメイラン家」を表す「古い樹木」の上に花を咲かせ、彼らの成し遂げた業績も時計産業で花開くことを願ったからではないかという。
カテリーナ・ブレッヒビュラーがグライシンの名称について説明した次の言葉にも、同様の解釈がうかがえる。「この名称は、藤づるの性質から取られたものです。藤づるはあらゆる場所に繁茂し、繁殖力が旺盛です。手入れもあまり必要がありません。にもかかわらず素晴らしい花を咲かせるのです」
グライシンの創業年は1914年である。この年は、1880年から1914年に盛んだったユーゲントスティル（アールヌーヴォー）のまさに最後の時期に重なる。この時代の様式は、とりわけ花や植物を中心にした自然のモチーフや、意匠を凝らしたデザイン、流れるようなラインに包まれたフォルムに特徴があった。この様式はまた、繊細で女性的なデザインと組み合わされることもしばしばだった。そのキーワードは優美な気品である。グライシンが製作した初期のレディスウォッチには、まさにそれが息づいていた。
15ページに掲載した古い時代のバーゼル・フェアの広告を見れば、当時のグライシンにそうしたスタイルがマッチしていたことがわかるはずだ。
歴史が証明しているように、グローブのようにトレンドを創り、絶え間なく続いてきたグライシンに「藤づる」は、いかにもふさわしい名称だった。

1914年から2005年まで使われた、ビール／ビエンヌのフレデリック・インゴルト通り5番地のグライシンの社屋

グライシンの「エアマン」に備わる魅力とはなんだろうか。不思議なことに、「エアマン」がふつうの12時間時計ならそのような魅力を覚えることもないだろうし、よく考えてみれば他のどのような時計も魅力的に思えないのは同じだ。私にとって、時間とは一種の感覚だ。かりに午前7時半に起きなければならないなら、その時刻に目覚めなくてはならないと自分に言い聞かせるだろう。約束の時間が午後7時半でも、その時刻を把握するのはべつに困難なことではない。ディナーを楽しんで、そろそろエスプレッソを飲み干す頃だ。12時間時計の場合、どちらの行為も、同じ7時半に生じる。当然のことながら、24時間の世界に生きている人々は、時刻を混同したり、時間にストレスを感じてしまう。この12時間の周期にとらわれていると、時間に十分な余裕があると感じることはまずないだろう。しかし、24時間時計があれば、1日の時間がフルに手に入るのである。なにも急ぐことはない。この素晴らし日のあらゆる時間を少しずつゆっくり楽しめばよい。24時間時計に私が魅了されるのはまさにこの点にあるのだ。

初代モデルが1953年に製造されたグライシンの「エアマン」は、非常に特別な存在であり、24時間時計という他にはない時計である。戦闘が24時間に拡大した戦争の影響で世界は急速に小さなものへと変わった。そして、世界を偵察して回る人々は、この24時間を経験することになった。「エアマン」を製作したグライシンは、24時間というものを視覚的に人々に意識させた最初の時計会社の1つだった。この時計は、ホームタイムと旅先の時刻を表示するだけでなく、2つのタイムゾーンが1日のどのあたりを通過し、どのあたりにあるのかもひと目で見分けられるのである。さらにもう1つの戦争が、この「エアマン」を世界のベストセラーの24時間時計にした。

ベトナム戦争は、何万人ものアメリカ軍兵士を外国に派兵させた。彼らはみな、愛する人が何時に目覚め、何時に床につくのかを知りたがった。現在は、世界全体が食卓の上で手に取るようにわかる。グローバル化した世界をインターネットが認識するやり方はすでに行き渡っているし、12時間時計がそれをカバーできなくなる日も近い。

24時間とこの「エアマン」に対する私の興味は、ウェブサイトの24hourwatch.infoとglycineairman.infoを見て最高潮に達した。そこで、この比類ない時計を称える書物を書こうという考えが2005年に浮かんだ。私は、2009年3月に親友のエディをともなってグライシン社を訪問した。そこで私たちは、カテリーナとハンス・ブレッヒビューラーに会い、「エアマン」のプライベート・コレクションを撮影のために2日間借用した。こうして2009年のほとんどの時間をこの本のために費やし、多くの友人たちの協力のおかげプロジェクトは素晴らしい結末を迎えることができた。

2012年にアムステルダムで、ステファンとニコール・ラックに会い、「エアマン・ブック」の改訂第2版の計画を立てた。一覧には新しいモデルやレア・モデルを追加し、シャルル・ハーティッヒ・ジュニアとヴェルナー・ジークリストと共有したグライシン社の初期の歴史に関する考察も本書に付け加えた。また新しい第6世代についても、新たな章を設けて紹介した。第1版の「Work in Progress」の章は、「エアマン」のレア・モデルの章に置き換えた。いくつかの未解決の細かいテーマについては、この“Wrap It Up（結び）”の章の中で扱った。

グライシン・リューズを備える「エアマン」。1967年頃

用語集

24時間時計： 時針が24時間で1周する時計。

A.シールド： グライシンが1960年から1978年に使用した自動巻きムーブメント。

熱狂的なファン： 製品に情熱を傾け、時によっては圧倒的な嗜好と興味を示す人物。

AM： ラテン語の ante meridiem の略：英語では before mid day：午前の意味。

AOPA： Aircraft Owners and Pilots Associationの略。航空機オーナー・パイロット協会。

ATM： Automated Teller Machineの略。コンピューター化された通信システムを使い、金融機関の顧客に対し、出納係や事務員、銀行の窓口を必要とせずに公共スペースに設置された機械で金融取引へのアクセス可能にする。

自動巻きムーブメント： 自動巻きを参照。

ベゼル： 時計ケースの上にある回転式の枠で、第2時間帯などの情報を表示に使う。

ブランディング： オーナーを特定するために家畜に施されるマーキングの技法。ブランディングは複雑なマーキング・システムに発展して、今なお使われている。

クロノグラフ： 時刻表示とともにストップウォッチ機能を併せ持つ時計。

クロノメーター： 精度基準に基づいてテストされ、高精度が認定された時計。

ETA： 第5世代「エアマン」にグライシンが使用する自動巻きムーブメント。

偽物： フェイク。虚偽を言い表す、もしくはそれを意味するために使う言葉。

フェルサ： グライシンが1950年から1960年に使用した自動巻きムーブメント。

フランケン・ウォッチ： オリジナルのままでなく、個人的な目的のために部品を交換した時計。

GMT： Greenwich Mean Timeの略。グリニッジ標準時。

GMTウォッチ： 独立した別々のタイムゾーン（時間帯）を表示するために2本の時針を備える時計。12時間時針のほうはローカルタイム、24時間時針のほうは、第2時間帯を示す。

ハック機構： 秒針を停止させる複雑機能。

NOS： New Old Stockの略。古い時代に作られたが、一度も使われずにストックされてきた時計や部品。

PM： ラテン語の post meridiem の略：英語では after mid day：午後の意味。

プライベート・レーベル： ある会社が他社のブランド名で販売するために製造もしくは提供した製品。

ピューリスト： 忠実に本質を守るアイテムを望む人。24時間時計の場合、24時間式の時間表示のみを備える時計。

レギュレーター： 時計製品の針合わせや精度調整に利用するマスター・クロック（親時計）。正確な調整を行うために、このマスター・クロックのそれぞれ独立した針が参照される。古典的なレギュレーターの場合、中央に分針を置き、時針をセットしたサブ・ダイヤル、秒針をセットしたサブ・ダイヤルが別々に配される。

ロータリー： ビジネスや専門職のリーダーたちが集う国際的な社会奉仕クラブで、人道的奉仕を行いながら、すべての職務における高い倫理基準を奨励し、世界の親善と平和の確立に寄与することを目的に掲げる。ロータリーは、人種、肌の色、信条、宗教、性別、政治的な支持傾向に関わりなくあらゆる人間に開かれた非宗教組織。

自動巻き： 機械式ムーブメントの主ゼンマイが時計の着用者の腕の動きによって自動的に巻き上げられ、手で巻き上げる必要のない時計。

タイムゾーン： 時間帯。一定の標準時が使われる地球上の地域。

チャルク： 18世紀から1930年頃まで建造されたフリジア（オランダ北部）の小型帆船。長さ12から20m、幅は平均3.5m、最大で4m（大きさはフリジアの標準的な桟橋や水門が基準）。

UTC： Universal Time Coordinatedの略。協定世界時。国際原子時を基準とする時間体系。

ヴィンテージ・ウォッチ： アンティーク・ウォッチ。

ワールドタイム・ウォッチ： 世界24地域の時刻を表示する時計。

Sources

Ostermann, Tomas: Gefragte Flieger, Chronos 4/2005

Trueb, Lucien F: Fliegeruhren im Zeichen der Glyzinie, Klassik Uhren 6/2003

Brunner, Gisbert L and Pfeiffer-Belli, Christian: Wristwatches/armbanduhren/ montres-bracelets, Könemann GmbH 1999

Brunner, Gisbert L und Pfeiffer-Belli, Christian: Klassische Armbanduhren A-Z, Callwey Verlag 1996

www.glycineairman.info

Airman SST 06

GLYCINE
AIRMAN